心に広がる数学の世界を！　多読・多聴で生きた英語を！

SEG® 2019 新高1・2・3

4月入会・春期講習案内

2018 SEG® 大学合格実績

（2018.7.6判明分）

東京大学	121名
理科Ⅰ類	39名
理科Ⅱ類	30名
理科Ⅲ類	2名
文科Ⅰ類	21名
文科Ⅱ類	16名
文科Ⅲ類	12名
法学部（推薦入試）	1名

国公立医学部 医学科	合計72名
京都大学	2名
大阪大学	1名
東京医科歯科大学	6名
東北大学	4名
北海道大学	2名
筑波大学	8名
千葉大学	8名
岐阜大学	1名
金沢大学	2名
	ほか

私立医学部 医学科	合計205名
慶應義塾大学	12名
東京慈恵会医科大学	16名
順天堂大学	25名
日本医科大学	21名
昭和大学	28名
東京医科大学	17名
東邦大学	9名
日本大学	7名
東京女子医科大学	12名
	ほか

慶應義塾大学	248名（うち医12名）
早稲田大学	**220名**
東京理科大学	178名
明治大学	79名
上智大学	44名
中央大学	37名
立教大学	23名
青山学院大学	16名
国際基督教大学	14名
	ほか

国公立大学合計　351名

私立大学合計　1,211名

アクセス▶JR新宿駅西口より徒歩7分

中学1年～大学受験
科学的教育グループ SEG®

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-19-19

資料請求・お問い合わせ TEL.03-3366-1466 月～土 13:00～21:00

http://www.seg.co.jp/

姉妹校 横浜エデュカ TEL.045-441-1551

※SEG®は（株）エスイージーの登録商標です。

172190109　資料No.0300

目　次

ご挨拶……01

１年の流れ……03

春期講習手続のご案内……04

数学……05

高 1……09　高 2……11　高 3……15

英語多読……19

高 1……23　高 2……25　高 3……27

理科（物理・化学）……29

高 1……35　高 2……37　高 3……39

特別講習・ゼミナール……41

SEG のサポート……43

４月入会手続のご案内……45

入会説明会 日程

高 1	2/3（日）	2/10（日）	2/17（日）	2/24（日）	3/3（日）	3/10（日）
高 2	2/3（日）	2/11（月祝）	3/10（日）			
高 3	2/9（土）	2/23（土）				

● 時間等詳細はWebをご覧ください。

Scientific Education Group

自分を伸ばすのは
自分自身！

SEG代表　古川（ふるかわ）　昭夫（あきお）

東京大学理学部数学科卒
東京教育大学附属駒場高校（現筑駒）卒
「大学への数学」誌執筆者
「多聴多読マガジン」誌執筆者
国際多読学会理事

学校の授業が基本です

学校の授業を理解するのが勉強の基本です。学校の授業が充実していて効果が出ている実感があるならば、わざわざ塾に通う必要はありません。しかし、学校の授業に物足りなさを感じている方には、学校とは異なるアプローチで教えているＳＥＧがお勧めです。

自由で楽しい数学を！

数学は、規則性を発見し、それを計算と論理で裏付けする道具です。しかし、多くの学校や塾では、公式の使い方を問題演習を通じて習得することが目標になりがちです。発想は正しいのに、先生の教えた手順と同じでないというだけの理由で、減点する先生もいます。それでは未知の難問を解ける力は育ちません。数学は本来もっと自由で、楽しいものです。

公式の原理の理解が大事！

ＳＥＧでは、公式を暗記し、それを使う問題演習を大量に繰り返すタイプの授業はしていません。一番大事にしていることは、公式が自分で導けるように、公式を深く理解してもらうことです。面積や体積を積分で求めるとはどういうことなのか、どうして定積分の計算を微分公式から求めることができるのか、といった原理を理解することが、複雑な問題を解く最大の基礎となるのです。

難問を解く快感を！

ＳＥＧでは、公式の意味をしっかりと理解した後、いろいろな難問にチャレンジしてもらいます。規則を発見し、難問が解けたときの快感こそが、数学学習の原動力だからです。もちろん、発見した規則が間違っていることもあるし、自力では証明できない場合もあるでしょう。また、難しすぎて解けないこともあるでしょう。でも心配しないでください。そんな時のために、「ＳＥＧの先生」がいるのです！　公式を暗記するのではなく、純粋に数学をする楽しさを、春期講習で味わってください。

双方向の授業で英語力を高めよう！

2020年度から大学入試にもSpeakingを含む民間試験の受験が必要となりますが、ＳＥＧは、英語の授業形態を全く変えません。2006年に英語多読コースを開講以来、授業の半分は英語の原書の直読直解による多読、残りの半分を外国人講師によるAll Englishでの双方向授業で展開してきたからです。開講当時は1名だった外国人の専任講師も、現在は10名となり、高校部では、Speaking, Discussion, Writingを中心とした授業を展開しています。その結果、卒業生は他塾の出身者を横目に、大学での外国人の先生の英語の授業を楽しみ、大学に入ってさらに、英語力を伸ばしています。

55万冊の洋書で多読しよう！

ＳＥＧでは、55万冊を超える多読図書を用意しています。その中から、みなさんの英語力に合わせ、楽しめる本を一人ひとりに選書します。日本語を通じて英語を理解するのではなく、英語を使うことで学びたい、使って楽しみたい方は、ぜひ、ＳＥＧの春期講習を受講してみてください。そして、純粋に英語で本を読む楽しさを味わってください。最初は1冊300語程度の洋書から始めていた方が、高2の終わりには、1冊2万語を超す洋書を読めるように成長していきます。中には、半年も経たないうちに、週に10万語以上読めるようになった猛者もいます！

なお、高1では多読・多聴に特化した「英語多読多聴Rコース」、また、高2・高3では、受験英語対策に特化したコースも用意しています。

知的好奇心をくすぐる物理・化学の授業

授業は分かりやすいことが大切ですが、学ぶことに喜びが伴わない授業は全くダメな授業だとＳＥＧでは考えます。喜びが試験の点数だけでは寂しすぎます。物理や化学自体が面白いと思えることを重視して、日常生活での応用例・実例の紹介も交えて授業をしています。「知識を広げる」だけでない、「知識が活用できるようになる」面白さを春期講習で味わってください。

一人でも多くのみなさんが、ＳＥＧで数学、英語、理科を
楽しんで力を伸ばしていけるよう、私たちも全力で頑張ります！

春期講習は、前年度からの継続生や、４月からの新規入会を検討されている方を対象に開講されていますが、単独での受講も承っています。お気軽に受講してください。

高1～高2	春期講習	通常授業 4-6月期	夏期講習	通常授業 9-11月期	冬期講習	通常授業 1-2月期
	5日連続	週1回×12週	5日連続×2	週1回×12週	4日連続	週1回×7週
高3	春期講習	通常授業 4-6月期	夏期講習	通常授業 9-11月期	冬期講習	直前講習
	5日連続	週1回×12週	5日連続×2	週1回×12週	4日連続	4日連続

※上記は標準的なコースの授業日数です。一部のコース・講習は異なります。
※高3受験コースは、高2の冬期（一部は1-2月期）より開講しています。

季節講習

季節講習は、春期・夏期・冬期の年3回実施し、指定講習・特別講習・ゼミナールがあります。

指定講習　SEGの年間カリキュラムに組み込まれている講座です。夏期は前期と後期があります。

特別講習 ゼミナール　指定講習だけではなく、さらに新しい分野や奥深い内容に積極的にチャレンジしたい生徒のための講座です。

通常授業

4-6月期・9-11月期・1-2月期の3期に分け、週1回通う授業です。

選抜制　数学・英語多読（受験英語多読Tコースを除く）・物理・化学は期ごとにクラス分け試験（入会試験）を行います。

資格制　受験英語多読Tコースは季節講習・通常授業ともに資格制です。受講資格はSEGホームページをご覧ください。

SEGの1年間のカリキュラムは、春期講習から始まります。

SEGの1年間のカリキュラムは、季節講習も含んだ年間一貫カリキュラムで、春期講習から始まります。4月からの通常授業は、原則として春期講習の内容が学習済みであることを前提にスタートします。

4月からの入会をご希望の方も、春期講習の「指定講習」（もしくは「新規生専用講習」）を受講してください。春期講習は無試験で受講できます。

入会試験（クラス分け試験）

- 高1～高3の通常授業の講座は、受験英語多読Tコースを除き選抜制ですので、入会試験を受験してください。受験する際の参考として「入会試験参考資料」を用意しています。受付までお問い合わせください。
- 講習に入会試験が付属している講座については、別途試験のお申し込みは不要です。詳しくは、45ページ「通常授業4月入会手続のご案内」をご覧ください。
- 合格基準点に達しない場合は、不合格となります。
- 入会後は通常授業の学期末ごとに、数学・物理・化学では理解度を確認するクラス分け試験を、英語多読では英語運用能力を測るクラス分け試験を実施し、次学期のクラスを決定します。なお、試験結果が著しく悪い場合は受講を継続していただけないことがあります。

※通常授業4月入会手続については、45ページをご覧ください。

受講科目・コース・レベルの選択

春期講習は無試験で受講できます。パンフレットをご参照のうえ、受講科目・コース・レベルをご選択ください。開講日程・担当講師・受講料は、別紙の講座日程表でご確認ください。

どのコース・レベルがよいか迷ったら

- 説明会に参加する ▶▶▶ 説明会日程は表紙をご覧ください。詳しい時間等はSEGホームページ（http://www.seg.co.jp/）に掲載しています。
- 判定問題で自己診断する ▶▶▶ 高1・2の数学と英語多読、高2の物理で用意しています。英語多読はSEGホームページ（http://www.seg.co.jp/）→［春期講習から始めよう！］をご覧ください。数学、物理は受付に用意しています。
- 入会試験参考資料で自己診断する ▶▶▶ 高3理科のコース選択の判断材料としてご利用ください。受付に用意しています。

申 込

- 受付開始：［新高1］2/2（土）13:00から ／［新高2・3］1/26（土）13:00から
  ＊正会員（現在通常授業を受講中）の方は、お届けしたご案内をご覧ください。
- 申込に必要なもの：
  - ・メイト会員登録票（初めての方のみ・写真含む）
  - ・メイト会員登録料500円（初めての方のみ）
  - ・講習申込書
  - ・受講料（現金または振込の証明となるもの）
  - ※クレジットカードはご利用いただけません。

メイト会員登録票・講習申込書はWebからもダウンロードできます。
SEGホームページ（http://www.seg.co.jp/）→［入会案内］

- 申込方法：窓口または郵送にてお申し込みください。

【窓口でお申し込みの方】
受付場所：H教室1階受付　受付時間：月～土／13:00～19:00
※日曜日の受付時間については事前にお問い合わせください。
※講習中は以下の日程のみ受付時間が異なります。
3/23（土）・3/28（木）8:30～19:00

【郵送でお申し込みの方】
郵送先
〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-19-19
「SEG受講手続係」宛

【振込先・口座名】
ゆうちょ銀行 00120-4-712330
きらぼし銀行 新宿支店 普通 0331562
口座名 エスイージー

※フリガナ・電話番号を明記のうえ、受講生徒名でお振り込みください。
※振込手数料はご負担ください。ただし、SEG所定の振込用紙で左記金融機関の本・支店での取り扱いの場合、手数料は不要です。

- 以下の情報はWebでご覧いただけます（お電話でもご案内いたします）。

＊空席状況
- ・SEGホームページ（http://www.seg.co.jp/）→［会員の方］→［講習空席状況］
- ・SEG MyPage（https://www.seg.co.jp/mypage/）→［講習空席状況］
- ※キャンセル待ちは承っておりませんので、ご了承ください。

SEG MyPage

＊講座の増設状況
- ・SEGホームページ →［お知らせ］

講座の変更・取消

講座の変更　別の講座へ変更希望の場合は、元の申込講座もしくは変更希望先講座、いずれか早い日程の授業初日の1営業日前までにお申し出ください。変更希望先が満席の場合は変更できません。

講座の取消　各講座の授業初日の1営業日前までに、窓口またはお電話にてお申し出ください。お支払済の受講料から取消手数料または振込手数料を引いた金額をご返金いたします。
＊詳細は、お申し込み時にお渡ししているご案内をご覧ください。

おことわり

季節講習の受講にあたっては、次の点をあらかじめご了承ください。
①SEGでは「問題の解答の解説」よりも「解くプロセス」「解法の背景と理論」を重視しています。
②生徒の理解に応じて、解説する問題数を調節しますので、テキストの全問題を解説しないことがあります。
③受講態度に問題が見られる場合や他の生徒の学習を妨げる言動がある場合、その他講習の妨げとなる場合には、退席を命じたり受講をお断りする場合があります。

「基礎の徹底理解」＋「実験・発見・証明」

ＳＥＧの高校数学では、「基礎の徹底理解」と「実験・発見・証明」にこだわります。というのも、この2つは大学入試だけでなく、大学に入ってからも役に立つからです。数学は大学に入った後にこそ必要になる学問です。ですから、数学を単に入試で点をとるためだけに学ぶのは、もったいないことです。大学入学後にも役立つ力の育成をＳＥＧでは重視しています。

基礎の徹底理解とは

数学の学習において、基礎の徹底的理解はとても重要です。根本原理をしっかり理解すれば、それに基づき、自由自在な発想ができるようになるからです。公式や解法の暗記は不要となります。

例えば、図1の斜線部分の面積Sの求め方として、多くの学校や塾で、斜線部分を細分して図2のような長方形たちの面積の和で「近似」して、極限

$$\lim_{n\to\infty}\sum_{k=1}^{n} f(x_k)\Delta x_k = \int_a^b f(x)\,dx$$

を計算する方法（積分法）を学びます。

でも、何だか騙されているように思いませんか？　分割の数nを大きくすると、図3の黒塗りの部分の面積Aは確かにどんどん小さくなって0に近づいていきますが、図3の長方形の面積Bだってどんどん小さくなって0に近づきます。両方とも0に近づくのに、なぜAを無視して、Bとみなしてよいのでしょう？　「小さくなるから無視できる」という説明だけでは不十分です。基礎を徹底的に理解するとは、例えば積分において、面積Aを無視しても良い理由をはっきり納得することなのです。そして、これが分かると、面積や体積の求め方としていろいろな細分を考案することができるようになり、思考の幅が拡がります。

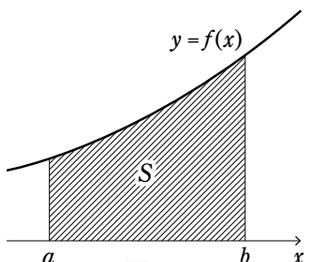


図1

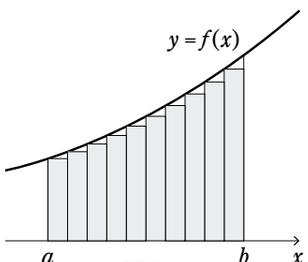


図2

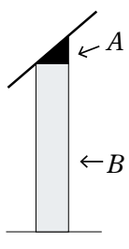
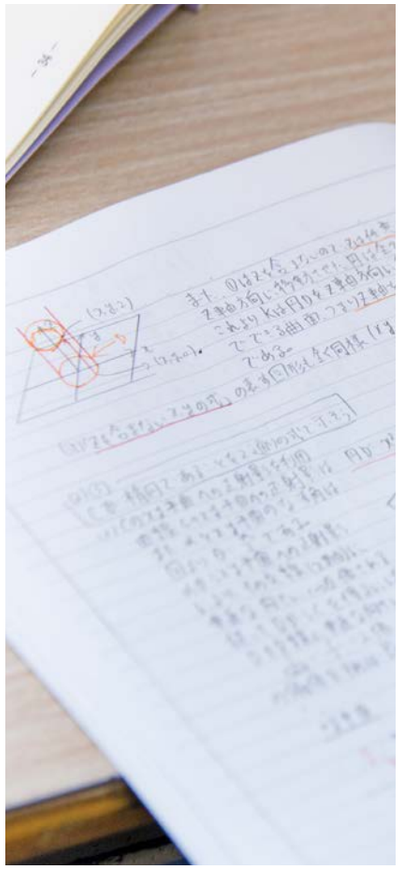


図3



実験・発見・証明の醍醐味

基礎の徹底理解に加えて、大学入試の難問を解くために必要なものは、試行錯誤を繰り返す中で、問題の手がかりを発見し、それを論証する力です。初めて見るタイプの問題は、問題の解法を大量に暗記していても解けません。「より簡単な問題にして考える」「具体的な数値で考える」「十分条件を考える」など、いろいろな実験・試行錯誤を通じて、規則性を発見し、計算・証明していくことが必要です。そして、このような力こそ、社会に出て必要になる力に他なりません。

たいていの難問は、直接的には解けません。自分で迂回路を発見し、いくつかのステップに分けて解いていくことが必要です。自力で解けるようになるには、「何に注目するか」「何を求めれば最終的な解に至るのか」を日頃から訓練することが必要なのです。

ＳＥＧでは、各問題の解き方を解説するだけでなく、解法の発見法を解説し、また授業中に実際に問題を解いてもらうことにより、解法を発見する楽しさを体験してもらいます。例えば、2015年度の東大理系５番の問題

> mを2015以下の正の整数とする。${}_{2015}C_m$が偶数となる最小のmを求めよ。

は「難問」と言われる問題ですが、普段から試行錯誤や必要条件・十分条件を考えることに慣れていれば、自然に解けてしまいます。

考えるのが楽しくなれば、受験のための数学の勉強だって楽しくなるのです。ＳＥＧで考えることの楽しさを体験しませんか。

主任講師からひとこと

数学の楽しさ、面白さを味わいませんか？

ＳＥＧでは、数学の楽しさ、面白さを実感できるような授業を行っています。微分積分やベクトルのように抽象的な概念を導入する際は、豊富な具体例を紹介するなどしてイメージ豊かに理論の土台を築いていきます。問題演習では、根本的な考え方を用いて問題を解くことの明快さや、問題の発展・一般化を考えることの楽しさを伝えます。ＳＥＧで数学を楽しんで学んでいけば、大学受験やそれ以降にも通用する思考力・想像力をつけることができるでしょう。ぜひ、ＳＥＧの教室で数学を学んでください。

高２・３数学主任講師　大澤 裕一
東京大学理学部数学科卒
市川高校卒

学習の形

春期講習と4月からの通常授業の授業形式はほぼ同じです。春期講習を受講し、ＳＥＧの授業方式・レベルを確認のうえ、通常授業に入会してください。

授業

高1・2では、クラスにより多少異なりますが、概ね次のような形で授業が行われます。
高3は、一部授業形態が異なります。

新出事項の解説

たとえば「微分」の初回であれば、「グラフを無限に拡大するとどうなるのか。1次近似とは何か」を1時間半程度で講義します。多くの場合、講義は生徒への質疑応答を交えて行われます。

基本問題の解説

多くの塾では計算式のみの板書ですが、計算式のみでなく、重要ポイントや着眼点を必ず板書します。
高３では「方針の立て方」の説明に力点を置きます。

演　習

生徒が自分で問題を解く時間を用意しています。講師は机間巡視し、ヒントを出したり、間違いを指摘したりします。
高３の３～８月は予習前提の授業なので、演習時間はありません。９月からはテストゼミ形式の授業内演習となります。

家庭学習

予　習

高1・2 … 白紙の状態から新出事項を講義するので、予習の必要はありません。
高3 …… ３～８月はテキストを全問予習してきてください。
９月からのテストゼミでは予習は不要です。

復習・宿題

復習は必須です。
その授業の回に学んだ考え方を確認し、テキストの問題や補充問題を解きましょう。そのうえで、高１・２では毎週１～２時間程度で解ける宿題を課します。高１・２の間は、復習と宿題をこなしていれば充分です。
高2の冬期講習以降は受験演習となるので、自分が予習で解けなかった問題は、必ずノートを見ずに解き直して、自力で解けるようにしておきましょう。

発展課題

余裕のある方や意欲的な方のために、テキストに発展課題（チャレンジ問題）を用意しています。ＳＥＧで力をつけ、東大理系や難関医学部に合格した生徒のほとんどが、チャレンジ問題にも取り組んでいます（高３はありません）。

クラス分け試験

学期ごとに、理解度確認を兼ねたクラス分け試験があります。

2018 合格者の声

新しいことを学ぶ意欲をかき立ててくれるＳＥＧ

佐口 武優 さん

東京大学
理科Ⅲ類進学
（開成卒）

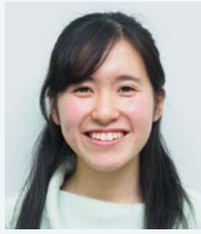
「楽しく学ぶ」というＳＥＧの考えに共感して入塾しました。実際に授業を受けてみて、先生方は楽しみながら教えていらっしゃり、生徒も楽しんで学んでいると強く感じました。

ＳＥＧでは、どの教科の先生方も担当する教科に自分の理論を持っていると思いました。高度な理論を再構成して、教科書の内容を包含する形で平易に理解できるような授業をしてくださいました。

特に印象に残っているのは数学Extremeの授業で、中1で帰納法、複素数の積、フェルマーの小定理、オイラーの定理という発展的な内容を教えていただきました。中1段階ではやや難解でしたが、理解しやすいように平易に解説されていたので、スムーズに頭に入ってきました。

ＳＥＧでは素朴な疑問を解決できるだけでなく、発展的な領域を学ぶことができるため、自分のなかに新しい問いを見出し、それにチャレンジするという学習意欲を高めることができる、素晴らしい塾だと思います。

アプローチの方向を考えてから、問題に向かう習慣が身についた



奥石 彩花 さん

東京大学
理科Ⅰ類進学
（筑附卒）

ＳＥＧの数学は、知識や解法をたたき込むような授業ではなく、どうしてそのように考えるのかといった根本的な部分や、さまざまな別解を提示してくださる授業で、苦手だった数学も楽しく学ぶことができました。

１問に多くの別解があることは、いろいろな考え方からのアプローチが可能であることを意味しています。そのため、自分で問題を解く際にも、まずはどんな方向からアプローチしていくべきかを考えてから解き始める習慣を身につけることができました。

また授業は、先生の一方通行の講義を受動的に聞くのではなく、先生からの問いかけによって、私たち生徒に考える時間を与えてくれる能動的なものでした。こうした思考のトレーニングを行うことで、授業中でも成長することができたと思っています。

ＳＥＧは宿題も少なく、部活とも両立が可能です。私のように数学が苦手な生徒でも、きっと楽しく学べるはずです。

授業方針とコースのご案内

単元の垣根を越えて数学を楽しもう

「三角関数」「ベクトル」「微分」……のように、高校数学は単元ごとに区切られており、どの学校でもそれを順番に教わります。しかし入試問題にはそのような区切りはありません。また、ＳＥＧで勉強していると「この問題が昔やったあんな話とつながっているなんて、数学って面白い」というような場面が数多く登場します。

「ベクトルを使うと三角関数の問題が分かった！」とか「数列を使って確率の問題が解けた！」など、単元間のつながりを楽しむことは数学の醍醐味の一つです。

公式は「覚える」のでなく、「作る」！

参考書を開くと、さまざまな公式が載っていて、「これを覚えて問題を解こう」と強調されています。ですが、これらの公式を片っ端から暗記することが不可欠、というわけではありません。その分野の本質となることが理解できていれば、公式を**自分で作り出す**ことができるからです。その経験を積んでいくことは、単に暗記量を減らすだけでなく、「基本原理を活用して、複雑な問題を解決する力」の育成につながります。

今までの学習進度に合わせた２つのコース

高１数学では、学習進度に合わせて２つのコースを用意しています。どちらのコースも、高２の11月までに高校数学をほぼ修了して、高２の冬期から大学受験に向けたカリキュラムが始まります。いずれも選抜制ですので、４月からの通常授業受講には入会試験を受験し、合格することが必要です。

高１数学DEコース

4-6月期 4/9（火）開講　開講曜日については、46ページをご覧ください。

数Ⅰ・Ａ（教科書の高１の範囲）が既習の方（中高一貫校で進度の速い学校の方など）を対象とします。春期講習は 指数・対数関数D/E を受講してください。クラスは、Ｄ（基礎）とＥ（上級）に分かれています。

高１数学RSコース

4-6月期 4/9（火）開講　開講曜日については、46ページをご覧ください。

高校数学をまだ習っていない方（高校受験をした方・中高一貫校で進度が標準的な学校の方など）を対象としたコースです。３～６月で数Ⅰ・Ａを、７月以降で数Ⅱ・Ｂの一部を学習します。９月以降はRとSでカリキュラムが異なり、高２からは、Ｒクラスは高２数学RSコースへ、Ｓクラスは高２数学EFGコースまたはLMコースへ接続します。春期講習は 整数と合同式R/S を受講してください。クラスはＲ（基礎）とＳ（上級）に分かれています。

＊受講コース・クラスを迷われる方のために、「判定問題」を用意しています。受付までお問い合わせください。

年間進度表

2019	春期講習	4-6月期	夏期講習（前期）	夏期講習（後期）	9-11月期	冬期講習	1-2月期	
高1数学	3時間×5日	3時間×12週	3時間×5日	3時間×5日	3時間×12週	3時間×4日	3時間×7週	
DE	指数・対数関数	図形と式（円・不等式）、三角関数	数列	論理と図形	微分（数Ⅱ） 平面ベクトル	積分（数Ⅱ）	空間ベクトル	高2数学EFG/LMコースへ接続
S	整数と合同式	三角比、三角関数、2次関数	指数・対数関数	図形と式	図形と式（続編）、平面と空間のベクトル	微分（数Ⅱ） オプション：数列	微分・積分（数Ⅱ）	高2数学EFG/LMコースへ接続
R	整数と合同式	三角比、三角関数、2次関数	指数・対数関数	図形と式	数列、 図形と式（続編）	多項式と因数定理	場合の数と確率	高2数学RSコースへ接続

指数・対数関数D/E

新高1数学D/E 指定講習
D基礎 E上級　180分×5日間

この講座では、厚み1で光がa倍となる「魔法のガラス」の概念を導入し、指数・対数関数を直感的に理解してもらうとともに、電卓を利用するなどしてさまざまな問題演習を行います。
４月からの数学DEコースの通常授業を受講希望の方は、別途、入会試験を受験してください。

整数と合同式R/S

入会試験付

新高1数学R/S 指定講習
R基礎 S上級　180分×5日間

約数・倍数・素数・割算といった基本的な概念はもちろんのこと、合同式を利用して、整数を処理する技法を身につけます。Sクラスでは、大学入試や数学オリンピックの問題も取り扱います。講座最終日の入会試験で、４月からのクラス「R/S」の合否を判定します。

※春期講習の各講座の開講日程・担当講師・受講料については、別紙の「講座日程表」をご覧ください。

指数・対数関数　受講生の声

- 初めて習う分野だったが、細かく丁寧に教えてくださったので、分かりやすく、すっと頭に入った。（豊島岡女子）
- さまざまな問題を分かりやすい例で解説してくださり、自然と理解することができました。とても楽しかったです。（学芸大附属）
- 一度忘れてしまったことも丁寧に解説してもらえてありがたかった。考える時間、納得する時間があったので、地に足をつけて進むことができた。（女子学院）
- 設問の難易度も解説の分かりやすさもちょうど良くて、とても良かった。（海城）
- 根本的なところから説明してもらったことで、より理解できるようになりました。面白い問題を解くことができたのも良かったです。（雙葉）

整数と合同式　受講生の声

- 学校で教わっていない細かい部分の説明がとても分かりやすかった。（筑駒）
- 公式を単に暗記するのでなく、問題を解くためにどうすれば簡単に計算できるか考えながら説明していくところが良かった。数学を本当に楽しそうに教えてくださるところも良かった。（日比谷）
- 高校受験時に習った「なぜそうなるのか分からなかった公式」を、根本から解説していただけたので理解してスッキリした。（都）武蔵）
- 問題を解くだけではなく、それを発展させることでさまざまな面白い発見があり、数学のすごさに気づいた。（立教女学院）
- 丁寧な解説で教えていただいたので、一度も学習したことのない範囲だったけれど分かりやすかったです。（筑附）

まずは、原理を理解しよう

せっかく労力をかけて学ぶのですから、近視眼的に解法の暗記に走るのではなく、原理を理解した方が得です。原理を理解し、それを応用して難問にチャレンジする楽しさをみなさんに伝えることが、私たちの使命です。

理系数学では、微積分の意味の理解を重視！

高２数学EFGコース、高２数学RSコースの微積分の授業では、

$$dy=f'(x)\,dx \qquad \int_a^b f'(x)\,dx=f(b)-f(a)$$

の２つの式の意味の理解を重視し、「微小変化同士は正比例すること」「微小変化を足しあわせて、変化の総量を求めること」を徹底的に習得します。これにより、複雑な図形の面積や長さが計算できるだけでなく

> 均一な太さ・密度の糸の両端を同じ高さで固定するとき、糸の描く曲線は、$y=\dfrac{e^x+e^{-x}}{2}$ のグラフと相似であることを示せ。

のような物理の問題も解けるようになるのです。微分積分は、大学での数学・物理・化学・経済学の基礎技術です。ＳＥＧでは、高校生のみなさんに、深く微積分の概念を理解してもらいたいと思います。

文系数学は、解法を発見するための思考法を重視！

高２数学LMコースでは、知識よりも考える過程を重視し、未知の問題に対して自分で解法を発見するための思考法を習得してもらいます。難関大学の入試では単に公式を適用するだけで解ける問題がほとんど出題されないからです。例えば、2016年度の一橋大前期１番の問題

> $6\cdot3^{3x}+1=7\cdot5^{2x}$ を満たす０以上の整数 x を全て求めよ。

は、いわゆる「問題集の典型問題の類題」ではありません。ＳＥＧでは、本問を「まず具体的な x の値で考え、左辺・右辺の大小を予想し、それを正当化する」のような実験→発見→証明の思考法で攻略していきます。公式の使い方をマスターするだけでなく、このような「実験・発見」の技術を文系の方にも習得してもらうのがＳＥＧの高２数学の授業の特長です。

今までの学習進度に合わせた3つのコース

高２数学では、学習進度に合わせて３つのコースを用意しています。どのコースも、高２の11月までに高校数学をほぼ修了して、高２の冬期から大学受験に向けたカリキュラムが始まります。いずれも選抜制ですので、４月からの通常授業受講には入会試験を受験し、合格することが必要です。

高２数学EFGコース【理系】

4-6月期 4/9（火）開講　開講曜日については、46ページをご覧ください。

数Ⅱ・Bが既習で、数Ⅲが必要な理系・医系志望者を対象とします。４～11月で数Ⅲを扱います（微積分、複素数と図形、２次曲線）。教科書の枠を超えた内容も扱い、本質・面白さを伝えます。クラスは、E（基礎）、F（中級）、G（上級）に分かれています。春期講習は 場合の数と確率E/F/G を受講してください。数Ⅱの微分が既習で数Bのベクトルが未習の方は 平面ベクトル も受講してください。EFGコースの方で、数Ⅰ・Ⅱを強化したい方には、ＬＭコースとの併行受講がお勧めです。

高２数学RSコース【理系・文系】

4-6月期 4/9（火）開講　開講曜日については、46ページをご覧ください。

数Ⅱの微分・数Bのベクトルが未習の方を対象とします。春期から夏期前期は、数Ⅱの微分・積分、ベクトルを中心に学習します。クラスはR（基礎）とS（上級）に分かれています。夏期後期から11月までで、理系の方は数Ⅲの微積分を学び、高校数学のほぼ全範囲を修了します。数Ⅲを必要としない文系の方は、夏期後期から、ＬＭコースに合流します。春期講習は 微分入門（数Ⅱ）R/S を受講してください。

高２数学LMコース【文系】

4-6月期 4/9（火）開講　開講曜日については、46ページをご覧ください。

数Ⅱ・Bが既習で、受験に数Ⅲを必要としない文系志望の方を対象とします。高２の春期～９-11月期では数Ⅰ・A・Ⅱ・Bの主要分野を、教科書や参考書とは異なる切り口で学習します。知識よりも考え方を重視します。高２の冬期以降は受験コースに接続し、大学受験を直接意識した授業を行います。考え方だけでなく、問題解決をスムーズにする知識、技術、計算法などにも触れます。L（基礎）、M（上級）の２レベルです。春期講習は 数学の論証L/M を受講してください。

※高２の春期～９-11月期については、理系の方の併行受講もお勧めです（RSコースの方は夏期講習から併行受講が可能です）。

※受講コース・クラスを迷われる方のために、「判定問題」を用意しています。受付までお問い合わせください。

年間進度表

2019	春期講習	4-6月期	夏期講習（前期）	夏期講習（後期）	9-11月期	冬期講習	1-2月期	
高2数学	3時間×5日	3時間×12週	3時間×5日	3時間×5日	3時間15分×12週	3時間×4日	3時間30分×7週	
EFG（理）	場合の数と確率	微分（数Ⅲ）	複素数と図形	G：2次曲線と空間図形 EF：2次曲線	積分（数Ⅲ）	受験数学（数列、確率）	受験数学（写像、整数、多項式）	高3数学 FGHコースへ接続
RS（理文）	微分（数Ⅱ）	平面と空間のベクトル	積分（数Ⅱ）	極限と微分（数Ⅲ）	微分・積分（数Ⅲ）			
LM（文）	さまざまな論証	多項式とその微積分・関数の値域	数列	場合の数と確率	ベクトル、三角関数、有名不等式	受験数学（整数）	受験数学（写像、数列、場合の数、確率）	高3数学 LMコースへ接続

(1) RSコースは、８月（夏期後期）より理系専用クラスとなり、文系の方は、LMコースに合流します。
(2) RSコース（理系）向けのオプション講習として、夏期に「複素数と図形」、冬期に「２次曲線」「数Ⅲ積分の探求」を開講します。
(3) 1-2月期には、理系のための演習コースが併設されます。
(4) 高２数学は、授業時間が学期によって異なります。授業開始・終了時間は46ページをご覧ください。

※春期講習の講座案内については、次ページをご覧ください。

場合の数と確率E/F/G

新高2数学E/F/G 指定講習
E基礎 F中級 G上級 180分×5日間

確率は生物学・薬学・経済学などをはじめ、多くの分野を学ぶのに必要な概念であり、現代社会を合理的に生きていくためにも必須の知識です。この分野を敬遠する方は多いですが、むしろ、得点源にしやすい分野です。基本から応用までを、興味深い例題を通じて講義・演習します。数列の漸化式・和が未習の方は、先に 数列入門 を受講してください。4月から数学EFGコースの通常授業を受講希望の方は、別途、入会試験を受験してください。

前提知識 数列の漸化式・和

微分入門（数Ⅱ）R/S

新高2数学R/S 指定講習
R基礎 S上級 180分×5日間

数Ⅱの微分法を講義・演習します。関数$y=f(x)$のグラフがなめらかなとき、1点$(a, f(a))$を中心に顕微鏡を覗くとグラフは直線に見えます。このミクロの世界での直線（とその傾き$=f'(a)$）を調べるだけで$f(x)$の複雑な変化が分かってしまう、これが微分法の考え方です。数学および自然科学全般から多様な題材を提供し、みなさんに自力で関数の変化を調べてもらいます。4月から数学RSコースの通常授業を受講希望の方は、別途、入会試験を受験してください。

数学の論証L/M

新高2数学L/M 指定講習
L基礎 M上級 180分×5日間

「証明」についての講義・演習を行います。講義では集合と論理およびいろいろな証明方法を確認します（集合の利用、三段論法、背理法、対偶など）。演習では、不等式、整数、有理数・無理数などを題材にさまざまな証明問題にチャレンジしてもらいます。「補題を設定して示す」「具体的に実験して証明の方向性をさぐる」などの実践的な方法論も提示し、入試レベルの難易度の高い証明問題にも通用するような思考法を伝授します。理系の方にもお勧めです。4月から数学LMコースの通常授業を受講希望の方は、別途、入会試験を受験してください。

数列入門

新高2数学 特別講習
180分×5日間

数列と数学的帰納法が未習または苦手な方のための講座です。数列には、「数がある規則に従って一列に並べられたもの」という捉え方と、「帰納的に定義される関数」という捉え方があり、どちらもとても大事な考え方です。SEGでは、数列の帰納的定義と数学的帰納法も丁寧に扱います。

平面ベクトル

新高2数学 特別講習
180分×5日間

ベクトルが未習の方、あるいは苦手な方のための講座です。ベクトルを伸ばす・つなぐから始めて、ベクトルの1次結合、1次独立性、内積の図形的意味、内積の計算法とその応用について講義・演習します。移動としてのベクトルと、数の組としてのベクトルの両方を使えるようになりましょう。

※春期講習の各講座の開講日程・担当講師・受講料については、別紙の「講座日程表」をご覧ください。

2018 合格者の声

SEGは楽しいだけでなく、確実に実力の向上ができる

澤田 立輝 さん

京都大学
医学部進学
(私) 武蔵卒)

僕がSEGに入ったのは高2の冬で、初めて受けた数学の授業は、テキストにある問題をただ解説するだけではなく、解法をいくつも紹介してくださったり、その問題に関連した話をしてくださるなど、面白くて時間が経つのが早いと感じるほど楽しいものでした。

本格的に受験対策に入ると、僕のクラスでは予習してきたノートを先生が採点してくださる予習ノートという制度もあり、自分の間違いや弱点をしっかりと把握することができました。また、夏期講習から始まったテストゼミではレベルの高い問題を実戦形式で解き、先生が採点してくださるので、点数や平均点、点数分布などで自分の相対的な実力を毎週確認することができ、実力の底上げをすることができました。

振り返ってみるとSEGに入ってからは、ほとんどSEGの勉強だけで実力の向上ができました。SEGでは楽しく、そしてしっかり勉強することができました。

数学の奥深さに気づかせてくれ、入試の実戦力も身につけられた

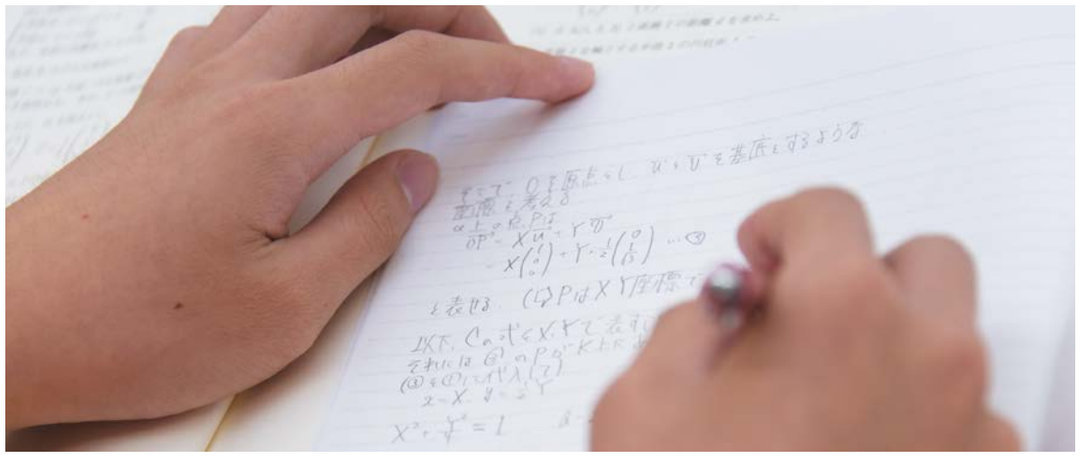
角 知咲希 さん

東京大学
理科Ⅱ類進学
(桜蔭卒)

友人がSEGに通っていたこともあり、中3の夏期講習を受けてみました。そこで数学の楽しさを味わい、また授業の進め方も自分にとても合っていると感じたことから入塾を決めました。

高2頃までは自分のペースで時間をかけて問題を解いていくことができ、深い思考力を鍛えることができたと思います。チャレンジ問題が解けたときの喜びはとても大きなものがありました。高2の終わりからは受験対策として演習問題を解くことになりますが、毎回、新しい問題を解く楽しみがありました。そこでも実戦的な解法や問題への立ち向かい方などを知ることができ、数学の解答力を伸ばすことができたと思っています。

SEGは、数学が好きな人には数学の本質や奥深さに気づかせてくれるうえ、細かな受験対策もできるので最適だと思います。数学が苦手な人にとっても、数学に対する考え方をガラリと変えてくれる塾だと思います。



「解法の原理」と「解法の多様性」が重要！

多くの塾・予備校では、授業は入試問題の解法を伝えることに主眼がおかれています。授業に出れば確かに「分かる」のですが、「解法の作り方がよく分からないので、問題と解法のパターンを暗記して乗り切ろう」ということになりがちです。

それに対して、SEGの受験数学コースでは、次の2つを重視した授業を行っています。

（1）「解法の原理」を講義する

（2）問題を解く際、どの「原理」を使うか、どう「原理」を組み合わせるかを講義する

たとえば、

問題1

t が $0<t<2$ の範囲を動くとき、

直線 $\ell_t : y=tx-t^2$ の通過する領域 W を求めよ。

というような問題は、どの塾・予備校のテキストにも載っています。どの予備校でもこの問題は、「t の方程式 $t^2-xt+y=0$ が $0<t<2$ に解をもつ条件で解ける」ことを教えてくれるでしょう。しかし、「方程式の解」に帰着する方法しか知らなければ、

問題2

t, s が $0<t<2, 0<s<2$ の範囲を動くとき、

直線 $\ell : y=(t+s)x-t^2+s$ の通過する領域 W を求めよ。

となると、お手上げでしょう。

SEGでは、問題1を解説する時点で、実数 t の存在条件に帰着される解法の原理と、x を固定して t を動かして、y の変域を調べる解法の原理の双方を講義し、それらの長所・短所をいろいろな問題を通じて理解してもらいます。そのような訓練をしていれば、問題2も難なく方針を立てて解けるようになるのです。

SEGの数学は、高3の8月までに「解法の原理」を講義し、問題を解くときに「解法の原理」をどう活用すればよいか、ということを伝えます。テキストでは扱う問題を最小限に厳選し、「1問で多くの原理が学べる問題」を収録しています。このテキストを使った授業により、暗記に頼らず大学入試問題が解ける思考法を鍛えます。

9月以降は、テストゼミで答案作成技術をブラッシュアップ

9月以降はテストゼミ形式で問題演習を行い、「解法の原理」の選び方、試行錯誤から正答を導くコツ、ケアレスミスを最小限にするための見直し方法の技術を向上させます。

志望校に応じて、コースを選ぼう

高3数学では、志望に合わせて2つのコースを用意しています。いずれも選抜制ですので、4月からの通常授業受講には入会試験を受験し、合格することが必要です。

受験理系数学FGHコース【理系・医系】

4-6月期 4/9（火）開講　開講曜日については、46ページをご覧ください。

2次試験・私大入試に数Ⅲを含む、理工系・医歯（薬）系受験者を対象とします。F（基礎）、G（中級）、H（上級）の3レベル編成です。春期講習は 理系数学演習F/G/H を受講してください。

受験文系数学LMコース【文系】

4-6月期 4/9（火）開講　開講曜日については、46ページをご覧ください。

2次試験・私大入試に数Ⅲを含まない、文系受験者のためのコースです。L（基礎～中級）、M（上級）の2レベル編成です。春期講習は 文系数学演習L/M を受講してください。

※いずれのコースも、1-2月期の授業内容を既知として授業は行われますので、新規入会で1-2月期の授業内容を学びたい方は、春期講習に「受験数学の定石」を受講してください。

年間進度表

2019	春期講習	4-6月期	夏期講習	9-11月期	冬期講習	直前講習
高3数学	3時間×5日	3時間30分×12週	3時間×5日×2	3時間30分×12週	3時間20分×4日	
FGH（理）	入試に必要な基本原理の理解と習得		入試頻出問題演習	テストゼミ＋添削・採点		大学別対策 分野別対策
LM（文）	入試に必要な基本原理の理解と習得		入試頻出問題演習	テストゼミ＋添削・採点		大学別対策 分野別対策

※春期講習の講座案内については、次ページをご覧ください。

2018 合格者の声

分かりやすい授業は日本一。的確に弱点が補強できる

大庭 弘己 さん

東京大学
理科Ⅰ類進学
（渋谷教育渋谷卒）

SEGに入ることを決めたのは高2の冬でした。SEGの数学の評判を聞き、冬期講習を受講したところ、妥協なく数学を根本から教えていただけることに共感できたからです。

分かりやすい授業をしていただけるという点で、SEGは日本一の塾だと言っても過言ではないと思います。授業の本筋はもちろん、雑談の時ですらその内容についつい引き込まれてしまうほど面白く、いつも時間が経つのを忘れてしまうほどでした。

高3のテストゼミの採点もきめ細かく、自分の弱点や悪いクセを的確に指摘していただいたことで弱点補強ができ、入試本番でもつまらない失点を防ぐことができたと思います。

SEGで教わったことをきちんと自分のなかに吸収し、考える習慣を身につければ、良い結果は必ずついてきます。ぜひSEGで学んで、合格を勝ち取ってください。

理系数学演習H

受験理系数学H 指定講習
上級　180分×5日間

理系・医系で数学がかなり得意な方を対象に、空間ベクトルの内積と1次独立性の応用、複素数と複素数平面、数Ⅲの極限、空間図形の求積について取り扱います。基本事項の確認および標準～難の問題演習を通じて、ベクトルや複素数平面を使いこなせるようにします。予習が必須です。

前提知識 数Ⅲの微積分、複素数平面（教科書程度）

理系数学演習G

受験理系数学G 指定講習
中級　180分×5日間

理系・医系で数学が得意な方を対象に、空間ベクトルの内積と1次独立性の応用、複素数と複素数平面、数Ⅲの極限、空間図形の求積について取り扱います。基本事項の確認および標準～やや難の問題演習を通じて、ベクトルや複素数平面を使いこなせるようにします。予習が必須です。

前提知識 数Ⅲの微積分、複素数平面（教科書程度）

理系数学演習F

受験理系数学F 指定講習
基礎　180分×5日間

理系・医系の方を対象に、平面ベクトル、空間ベクトルおよび複素数と複素数平面について、講義および演習を行います。ベクトルについては、１次独立性や内積についての完全理解とその使いこなしを目標とします。また、複素数平面については、積による回転、絶対値と円の式を取り扱います。この講座で、入試の標準レベルの問題を着実に解きこなす力をつけましょう。予習が必須です。

前提知識 複素数平面（教科書程度）

文系数学演習L/M

受験文系数学L/M 指定講習
L基礎～中級　M上級　180分×5日間

東大・京大・一橋大などの文系難関大を目指す方を対象に、図形問題の攻略法の基礎を講義します。図形問題を解くための基本手法としては、初等幾何、座標幾何、ベクトル、三角比・三角関数などがあります。多くの入試問題は、これらの中から適切に手法を選択し、多少の試行錯誤をすることで無理なく解決できます。この講座では、図形問題を解くうえで基本となる技術やものの見方を確認し、それらの適用方法や試行錯誤の方法を身につけましょう。予習が必須です。

前提知識 数Ⅰ・A・Ⅱ・B（教科書程度）

受験数学の定石

新高3数学 特別講習（文理共通）
180分×5日間

受験数学で必要な根本原理を学ぶ講座です。高2の1−2月期のFクラスの7回の授業内容の中から、写像、順像法、逆像法、通過領域、整数と合同式を講義します。これらの考え方を十分に理解し、使いこなせれば、入試問題を解く幅が広がります。４月以降の授業では、これらの事項は既知のものとして進みます。できる範囲で予習してきてください。

※春期講習の各講座の開講日程・担当講師・受講料については、別紙の「講座日程表」をご覧ください。

数ⅠA弱点発見！
数ⅡB弱点発見！

新高3数学 特別講習（文理共通）
各180分×1日間

既習分野の数Ⅰ・A および数Ⅱ・Bの現在の実力を自己判定するための講座です。夏以降に本格的な入試問題に挑むためには、それまでに苦手な分野をつぶしておかなければならないので、この春に苦手な分野をあぶり出しておくことが有効です。この講座では、前半の時間で実力判定問題を解いてもらい、後半にその解説を行います。センター試験レベルのやさしい問題からやや難しい問題まで幅広く取り揃えています。

数Ⅲ微積分講義Ⅱ

新高3数学 特別講習（理系）
180分×5日間

既に学んだ数Ⅲの微分法の続きです。置換積分・部分積分、面積・体積といった基本はもちろん、曲線のパラメータ表示、パラメータ積分といった発展的な内容も扱う予定です。単なる「技法紹介シリーズ」にはせず、微小量解析とその総合という微積分の発想そのものについても詳しく講義する点は、高2の1−2月期「数Ⅲ微積分講義Ⅰ」と同様です。

前提知識 積・商・合成関数の微分、三角・指数・対数関数の微分

数学論理克服講座α/β

新高3数学 特別講習（文理共通）
α基礎～中級　β上級　180分×4日間

この講座では、論理の必須項目を講義し、また演習を通じて、受験数学を攻略するために必要な論理的思考法を教授します（命題と条件、任意と存在、「ならば」と同値変形、背理法、対偶、必要性と十分性など）。論理は、それ自身が試験で出題されるだけでなく、論証問題、値域・軌跡問題などの数学の多くの分野で必要となります。この講座で「論理的なものの見方・考え方」をしっかりマスターし、本格的な受験勉強に備えましょう。文系・理系は問いません。
※高2冬期講習の同名講座と同内容です。

この他に、複素函数論の初歩　eの超越性の証明（41ページ）があります。

※春期講習の各講座の開講日程・担当講師・受講料については、別紙の「講座日程表」をご覧ください。

2018 合格者の声

気がつけば自分も楽しんでいる。SEGにはそんな魔力がある

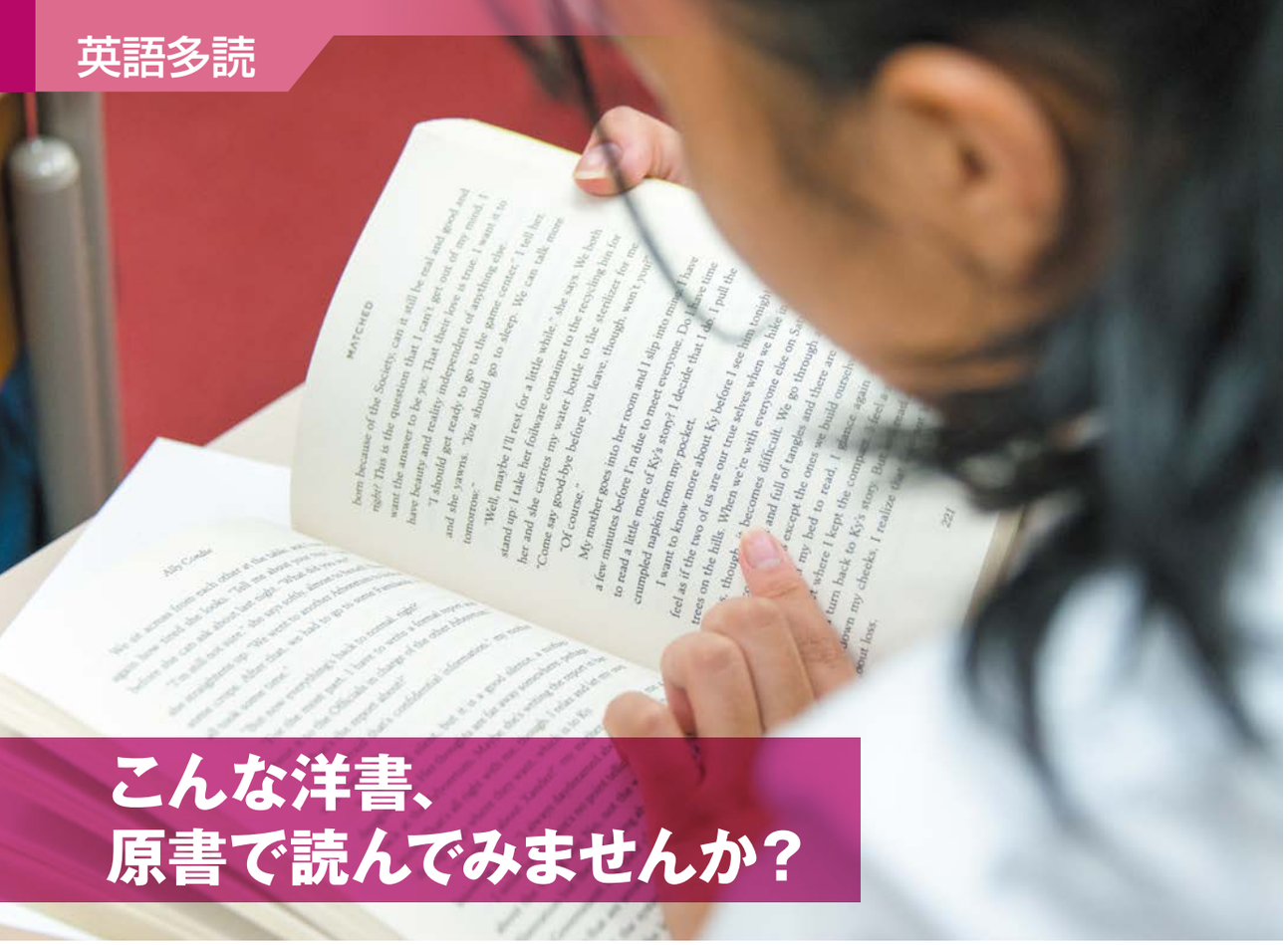
磯島 晃太郎 さん

東京医科歯科大学
医学部進学
（暁星卒）

ＳＥＧの授業はのびのびとその科目を楽しめる環境で、毎回楽しく参加していました。また、周りの生徒たちはハイレベルな人たちばかりで、常に刺激を受けることができました。

高3の2学期からのテストゼミでは「なぜこんなに減点するのか、もっと点数をくれたっていいじゃないか」と思うほど厳しい添削でしたが、正しい論理でないと全く評価されない厳しさを実体験することができました。先生の、いかにしてその解法をとるに至ったのか、他の方法はどうか、以前の内容がどのように応用されているのか、に重きを置いた解説のおかげで、受験本番でも初見の問題に臆することなく挑めました。

ＳＥＧは勉強を心から楽しめるようにしてくれます。楽しそうに教えてくださる先生を見ればどんなに苦手な科目でも気づけば自分も楽しんでいる、そういった魔力がＳＥＧにはあります。みなさんにもぜひＳＥＧで勉強を楽しんでほしいと思います。

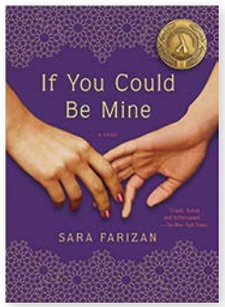


こんな洋書、原書で読んでみませんか？

次の洋書は、2018年秋にＳＥＧの高２・３英語多読クラスで実際に読まれた本の一例です。

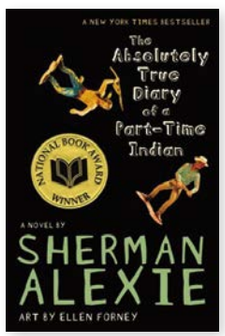
Wonder
著者：R.J.Palacio
総語数：73,053語

頭蓋骨が変形して生まれた少年と周囲の子供の物語です。2017年に映画化され、日本でも映画を観た人も多いでしょう。高1から高3まで多くの生徒に感動を与えています。



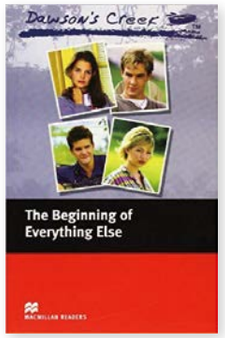
If You Could Be Mine
著者：Sara Farizan
総語数：52,585語

イランの女子高校生の物語。幼稚園児の頃から好きだった同級生の女の子が、突然、青年医師と結婚することになります。イスラムの厳しい戒律の中で、青春を楽しむ（苦しむ）様子を描く好作品。



The Absolutely True Diary of a Part-Time Indian
著者：Sherman Alexie
総語数：44,275語

インディアン居留地に住んでいたインディアンの高校生が一念発起して、居留地外の白人の通う学校に通います。インディアン差別の実態と、それを飛び越える男子高校生の様子が面白い作品。



Dawson's Creek
シリーズ：Macmillan Readers
総語数：11,000語

４人の高校生が主人公の人気TVドラマの小説版。アメリカの地味な田舎町の高校生たちの等身大の学生生活を描く。Graded Readersなので、非常に読みやすく、感情移入もしやすいです。

問題集をやるより、まずは、本を読もう！

英語を学ぶ目的って、何でしょう？　入試問題を練習し、入学試験で良い点を取ることも必要ですが、それ以上に、英語を使って他の国の人々と交流し、よりよい世界を創っていくことではないでしょうか？

日本に住んでいると、日常的に英語を使ってコミュニケーションする機会はなかなかありませんが、英語の本を読み、英語で感動し、英語で知識を増やすことならいつでもどこでもできるのです。ＳＥＧの多読クラスで、外国人の先生から直接英語で習い、そして、自分が読めるやさしいレベルの本から、読める本のレベルを少しずつ上げていけば、受験前までには英文を速くしっかり読めるようになります。それと併行して、少しずつ受験のための英語の勉強もしていくのが、ＳＥＧの英語多読コースです。

なお、高１英語多読DEF、高２英語多読FGクラスは授業の半分が、外国人講師による英語のみの授業です。2020年度から大学入試で、Speakingを含む民間試験も必要となりますが、会話の訓練はＳＥＧだけで十分です。

英語が苦手でも大丈夫！

最初から分厚い洋書を読める人はほとんどいません。高1、高2、高3どの学年でも、受講生の英語力・読書経験を考慮し、気楽に読めるやさしい本から、徐々にレベルを上げていきます。やさしい本をある程度長期間にわたって読んでもらうことになりますが、着実に読む本のレベルを上げていくことができます。

一人ひとり、英語力・読書経験・趣味が異なるので、多読指導は個別指導制となっており、クラスでは原則として全員が異なる本を読むことになります。

英語が得意でも退屈しません！

現在英語が得意な方は、やさしく気楽に読める本から始めて、短期間で長い本を、速く・正確に読めるようになります。多読クラスは個別指導のため、読める方にはどんどん難しい本も読んでもらうので、英語が得意な方でも退屈することはありません。

高２から徐々に受験対策にもシフト

多読コースでは、高１から高３の３年間で300万語を多読し、その中で、大学入試に必須となる基本的な表現を自然に覚えていきます。単語を覚えて文法問題演習を行う方法に比べて、一見遠回りに見えますが、３つの大きなメリットがあります。

（１）英単語の、実際の英文の中での使われ方を含めた「幅広い意味」が身につく
（２）単語の組み合わせによる表現の多様さに触れることで、自然な表現が身につく
（３）長文に慣れることにより、英文を速く正確に読めるようになる

かなり複雑な英文を、日本語に訳さずに英語のまま大意把握できるようになれば、入試に必要な文法・語彙・精読・和訳は主に高２の１月から集中的に学習するだけで、東大・京大・国立大医学部等に合格可能です。

主任講師からひとこと

多読を楽しみながら、英語脳を手に入れよう

英語多読主任講師　古川 昭夫
東京大学理学部数学科卒
東京教育大学附属駒場高校（現筑駒）卒

ＳＥＧの英語多読コースでは、高3の最後まで、授業時間の半分で授業内多読を行います（残りの半分は、外国人講師による4技能訓練あるいは、受験指導専門講師による入試英語対策指導です）。多読の長所は、ある程度読めるようになると、内容に集中して読めることです。そして、集中的に読めるようになると、英語で考える脳ができるので、英文を速く、正確に読めるようになり、試験の際も余裕を持って読むことができるようになります。短文の寄せ集めを読むのはつまらないですが、1冊の本を読み切るのは楽しく、英語で多読ができるようになると、社会人になってからも楽しめます。

Three Ways to Develop Your English Ability

外国人パート主任講師
Mark Koopman
University of British Columbia 卒

The goal of our high school program is to help you develop your English ability so that you can do well both on English exams and in life. The program has three main parts: intensive reading, academic writing, and discussion. By doing intensive reading, you will expand your vocabulary and become used to reading longer and more complicated sentences. Through academic writing, you will develop your ability to organize your thoughts and write in a clear and logical way. And through discussion, you'll develop the confidence and fluency necessary to express yourself in English.

多読と精読で、英語力の基盤形成を！

受験精読パート主任講師　岩瀬 達
京都大学経済学部卒
私立武蔵高校卒

高2英語多読Y/Zと高3受験英語多読E/F/G/Hクラスでは、日本人講師による精読パートと多読パートのセットで授業を行います。精読では、文構造や指示語はもちろんのこと、多義語の意味や語のニュアンスといった細かい点にまで気を配り、論理の流れを捉えて、英文が言っていることを正確に読み取る訓練をします。英作文や文法・語法・語彙の学習と合わせて「厳密に、しっかり」学ぶ精読パートと、「楽しく、たくさん」読む多読パートの組み合わせで、一生使える英語力の基盤形成を目指します。多読と精読によって、バランスの取れた学習環境を提供するＳＥＧでぜひ学んでほしいと思います。

2018 合格者の声

楽しみながら通っているうちに、いつの間にか勉強も面白くなった

渡辺 夏希 さん

東京大学
文科Ⅰ類進学
(豊島岡女子卒)

先に弟が通っていて、私も中3の冬から通うことにしましたが、読書好きの私の方が多読の授業に夢中になってしまいました。大好きな本の原書がたくさん読めるからです。

ＳＥＧはクラス全体の仲が良く、外国人パートの授業は最初、ゲームなどが主だったため、勉強しているというより遊びに行っているような感覚でした。なので、ＳＥＧに行くのが毎回楽しみだったことを覚えています。

ＳＥＧの授業は、いわゆる受験向けのテクニックを教えるのではなく、本質を突いた教え方をしてくれるため、飽きずに興味を持って学ぶことができ、雑談さえも面白いものでした。生徒と先生の距離もとても近く、話しかけやすい雰囲気だったため、疑問が湧いたときはその日のうちに質問に行き解消することができました。

楽しみながら通っているうちに、いつの間にか勉強そのものが面白く感じられるようになる――ＳＥＧは私にとってそんな塾でした。

小手先ではなく実力養成を目的としたカリキュラムが魅力

岡野 雄士 さん

慶應義塾大学
医学部進学
(慶應志木卒)

私は普通部そして志木高と、良くも悪くもユニークな学校へ通い、そこで良い成績を修めることが内部進学で志望学部に進むという目標達成に必要であったため、受験のためにしかならない勉強を強いられないという点を最も重視して塾を選びました。その中でＳＥＧを選んだ理由としましては、多読をはじめとしたユニークなプログラムと、受験用の小手先のテクニックではなく実力を養成することを目的としたカリキュラムに魅力を感じるとともに、自分の目標達成に向けて最適であると感じたことが挙げられます。

ＳＥＧでは多読のクラスで最も長くお世話になりましたが、多読で原書から自然で高尚な表現に触れ、速読や多聴そしてシャドーイング等のプログラムによって、和訳せずとも英語を理解する能力を身につけられました。

おかげさまで学校の英語で一度も苦労することなく、高校3年間最高評価を得ることができました。

生の英語のシャワーを浴びよう！

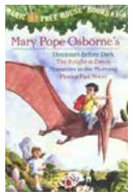
英語のペーパーバックを楽しんでみたい方、入試の長文問題やリスニング問題を得意になりたい方にお勧めなのが、英語多読コースです。多読と外国人講師による英語での授業を通じて英語を英語のまま処理する能力を高め、インプット・アウトプットの精度を上げていきます。長文読解力が急速に伸びるだけでなく、文法・語彙力も、自然に上がっていくのが特長です。

各自に合わせた多読個別指導

洋書の読書経験がない方には1冊500語未満のやさしい本から、読書経験のある方には快適に読めるレベルの本から読んでもらいます。継続生や帰国生が『Darren Shan』や『Harry Potter』のような原書を読んでいる隣で、新規受講の生徒がやさしい絵本を読む風景は珍しくありません。現在の英語力・読書経験に応じて個別に選書するので、英語が多少苦手でも大丈夫です。また、英語力のある方が、やさし過ぎて退屈するということもありません。

55万冊を超す蔵書で、多読をサポート

多読クラスでは、年間50万語以上を目指して読書をしてもらいます。これは単純なようで、実は簡単ではありません。みなさんの中には、教科書、参考書、問題集、試験問題以外で、長文を読んだ経験がない方も多いのではないでしょうか？ 多読クラスでは、まず、1冊が5000語程度の洋書が確実に読めるようになるまで、簡単な本をしつこいくらい読んでもらいます（これが必要のない方はこのステップは飛ばします）。それを土台に、1冊1万語の本、2万語の本と読む長さ・難易度を上げていきます。1冊2万語以上の本を読めるようになれば、英語の読書は、日本語の読書と同じように楽しく感じられるようになり、受験の長文問題を長いと感じることはなくなります。



Magic Tree House
総語数：4,750語

Stay
総語数：84,024語

Just Listen
総語数：98,151語

コース案内

「多読＋ All English の授業」「多読・多聴集中授業」が選べます

高1英語多読DEFコース 4-6月期 4/9（火）開講 開講曜日については、46ページをご覧ください。

3時間の授業のうち、80分が日本人講師による多読指導、80分が外国人講師による、精読・文法・会話・Writingの授業のコースです。通常授業は、クラス分け試験の結果に応じて、D（基礎）・E（中級）・F（上級）の3レベルに分けて指導します。1クラス8～18名の少人数クラスです。

英語多読多聴Rコース 4-6月期 4/9（火）開講 開講曜日については、46ページをご覧ください。

日本人講師が3時間の授業時間すべてを多読・多聴指導するコースです。授業時間内の大量読書で、読解力を集中的に伸ばしたい方、苦手な英語を一気に得意科目にしたい方に向いています。なお、年度の途中で、クラス分け試験の結果に応じてDEFコースに変更することもできます。1クラス8～18名の少人数クラスです。春期講習は 英語多読多聴入門 を受講してください。

※春期講習をやむを得ない事情で受講できない方は、別途、入会試験を受験してください。

高1英語多読DEFコースを希望する方は、高1英語多読D/E/F（新規生用）がお勧めです。また、DEFコースを希望するが、まずは多読のみをしっかり体験してみたいという方や、英語多読多聴Rコースを希望する方には 英語多読多聴入門 がお勧めです。

（1） 高1英語多読D/E/F（新規生用） 英語多読多聴入門 は、新規生専用講習です。
（2）英語に自信のある方は、積極的に、高1英語多読F にチャレンジしてください。
（3）レベルを迷われる方のために、Webに「判定問題」を掲載しています。
SEGホームページ（http://www.seg.co.jp/）→［春期講習から始めよう！］
（4）下記はいずれも4月からの入会を検討されている方を対象に開講されていますが、講習のみの単独受講も可能です。

高1英語多読D/E/F

入会試験付 新高1英語多読D/E/F 指定講習 D基礎 E中級 F上級 180分×5日間

D（基礎：英検3級程度）、E（中級：英検準2級程度）、F（上級：英検2級以上）の3レベル編成です。どのレベルにも、新規生専用クラスも用意していますので、多読未経験の方で日程の合う方は、できるだけ、新規生専用クラスを受講してください。1回の授業は、休憩時間20分を含む180分授業で、半分を日本人講師が授業内多読指導を行い、半分を外国人講師が精読、文法、Oral communication、Writingの指導を英語で行います。授業内に実際に読む時間があり、読書の様子や英作文の力を見て、「宿題」として各自のレベルに合った洋書を読んできてもらいます。なお、新規生の継続生クラスへの参加も歓迎です。多読の経験は問わず、基礎から指導します。講座最終日の入会試験で、4月からのクラス「D/E/F/R」の合否を判定します。

英語多読多聴入門

入会試験付 新中3・新高1英語多読 新規生専用講習 基礎～上級 180分×5日間

多読が初めての方を対象とする講座です。やさしいリーダー・絵本から始め、現時点の英語力で無理なく読める多種多様な本を集中的に多読・多聴してもらいます。多読は個別指導なので、英語が苦手な方でも、英語が得意な方でも参加いただけます。外国人パートはありません。多読経験のある方には、英語多読多聴R がお勧めです。講座最終日の入会試験で、4月からのクラス「D/E/F/R」の合否を判定します。

英語多読多聴R

入会試験付 新中3・新高1英語多読多聴R 指定講習 基礎～上級 180分×5日間

多読経験者対象の講座です。各自が現時点の英語力で無理なく読める多種多様な本を集中的に多読・多聴してもらいます。多読は個別指導なので、英語が苦手な方でも、英語が得意な帰国生でも参加いただけます。外国人パートはありません。多読が初めての方は、英語多読多聴入門 がお勧めですが、日程の都合がつかない方はこの講座も受講できます。講座最終日の入会試験で、4月からのクラス「D/E/F/R」の合否を判定します。

この他に、Writing力養成・上級/中級 問題演習で鍛えるバイリンガル論述力α（41ページ）があります。
※春期講習の各講座の開講日程・担当講師・受講料については、別紙の「講座日程表」をご覧ください。

英語多読 受講生の声

- 普段、英語の本をたくさん読むことがなかったので、楽しくいろいろな本を読めて良かった。
「英語多読多聴入門」受講（東洋英和）
- 外国人の先生だけでなく、多読パートの日本人の先生の発音もすごく綺麗でビックリしました。今までにない授業のやり方でしたが、とても分かりやすかったです。英語の本も面白くて良いお話しばかりで、読んでいて楽しかったです。
「高1英語多読D」受講（学芸大附属）
- 外国人の先生との会話が楽しかった。一人ひとりの名前や趣味を覚えていてくれたりと、とても話しやすかった。多読では、自分の好みにあった本を選んでもらえたので楽しかった。自分のペースで本を読めるので、集中できた。「高1英語多読E」受講（女子学院）

多読で総合的な英語力を伸ばそう！

ＳＥＧでは、英語読書を通じて英語を直読直解する力を高め、インプット・アウトプットの精度を上げていきます。長文読解力が急速に伸びるだけでなく、文法・語彙力も、文法を中心に学習する従来型のクラスより高い効果があります。受験までに、100万語から200万語の多読（＝辞書を使わない読書）をすることで、大学受験や大学入学後に必要な語彙力・読解力・表現力をつけます。

思った時がスタートの時 早速多読を始めよう！

「この時期から多読を始めて受験に間に合うの?」と思われる方もいるでしょう。しかし、毎年、高2の春期から多読を始めた方も多数、受験に成功しています。英語といえば、「文法・構文・単語の暗記しかない」と思いがちですが、暗記中心の勉強法はストレスがたまります。それに対して、自分の読める本、自分の興味がある本を英語で読書する多読はストレスの少ない方法であり、（１）楽しく、（２）読書速度が上がり、（３）頻出表現を自然に覚えることができる合理的な学習法です。

「多読」で語彙を着実に増やします

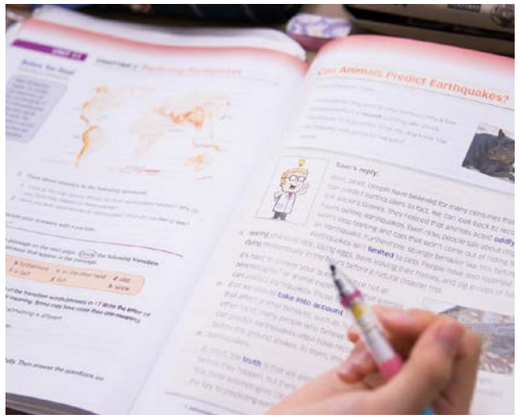
多読の良いところは、

（１）英単語の、実際の英文の中での使われ方を含めた「幅広い意味」が身につく

（２）単語の組み合わせによる表現の多様さに触れることで、自然な表現が身につく

（３）長文に慣れることにより、英文を速く正確に読めるようになる

の3点です。



コース案内

学習スタイルに応じた２つのコース

高２英語多読FGコース

4-6月期 4/9（火）開講　開講曜日については、46ページをご覧ください。

毎回の授業で、90分を日本人講師が多読指導、90分を外国人講師が、All Englishで精読・文法・会話・英作文の指導をします。多読指導パートの中で、英作文・速読・リスニング演習も行います。通常授業は、クラス分け試験の結果に応じて、F（中級）・G（上級）の２レベルに分けて指導します。なお、年度の途中でも、クラス分け試験の結果に応じて、YZ コースへ変更することも可能です。１クラス８～18名の少人数クラスです。春期講習は 高２英語多読F/G を自分でレベルを決めて受講してください。

高２英語多読YZコース

4-6月期 4/9（火）開講　開講曜日については、46ページをご覧ください。

毎回の授業で、90分を日本人講師が多読指導し、90分を別の日本人講師が日本語で文法・精読・和訳などの指導をします。大学受験に備えて、読解・英作文力を着実につけ、受験での得点力を早めに確実にしたい方に適しています。なお、年度の途中でも、クラス分け試験の結果に応じて、FGコースへ変更することも可能です。１クラス８～18名の少人数クラスです。春期講習は 高２英語多読Y/Z を自分でレベルを決めて受講してください。

※春期講習をやむを得ない事情で受講できない方は、別途、入会試験を受験してください。

（1）多読指導は、すべて個別指導ですので、多読が未経験の方も安心して受講してください。

（2）受講クラス・レベルを迷われる方のために、Webに「判定問題」を掲載しています。
SEGホームページ（http://www.seg.co.jp/）→［春期講習から始めよう！］

（3）下記はいずれも４月からの入会を検討されている方を対象に開講されていますが、講習のみの単独受講も可能です。

高２英語多読F/G

入会試験付　新高２英語多読F/G 指定講習　F中級 G上級　200分×5日間

日本人講師が授業内多読指導を行い、外国人講師が精読、文法、会話、英作文の指導を英語で行います（各90分）。授業内に実際に読む時間があり、読書の様子を見て、適切な本を「宿題」として読んできてもらいます。F（中級：英検準２～２級程度）、G（上級：英検準1級程度以上）の２レベル編成です。多読の経験は問いませんが、継続生に混じって積極的に授業に参加する意欲が必要です。講座最終日の入会試験で、４月からのクラス「F/G」の合否を判定します。

高２英語多読Y/Z

入会試験付　新高２英語多読Y/Z 指定講習　Y基礎～中級 Z中級～上級　200分×5日間

大学受験に備え、多読に加え、精読・英作文・文法の基礎を固める講座です。授業は多読指導が90分、精読・英作文・文法指導が90分で、両パートとも日本人講師が担当します。精読パートでは、英文法の学習に加えて、入試問題演習・英作文演習を行います。Zは、センター試験の過去問で７割以上得点できることが受講の目安です。多読は個別指導なので、経験の有無は問いません。講座最終日の入会試験で、４月からのクラス「Y/Z」の合否を判定します。

この他に、Writing力養成・上級/中級　問題演習で鍛えるバイリンガル論述力α（41ページ）があります。

※春期講習の各講座の開講日程・担当講師・受講料については、別紙の「講座日程表」をご覧ください。

2018 合格者の声

英文を読むスピードが上がり、英語そのものを好きになれた

笹沼 颯太 さん

東京大学
文科Ⅱ類進学
（筑駒卒）

ＳＥＧに通う高校の友人たちがみんな絶賛していたこともあり、苦手な英語を一から学び直すため、多読という勉強方法に期待して入塾しました。先生もクラスの雰囲気も明るく、毎週授業に通うのが楽しみでした。英語が聞き取れないときに何度聞き直しても、丁寧に言い直して理解できるまで工夫して話してくれた先生のおかげで、苦手だった英語も楽しく授業を受けることができました。

受験期の授業では、授業中にその場で解く和訳問題のレベルが非常に高く、英文を解釈する力とともに日本語の使い方も上達させることができました。こうして鍛えられた結果、東大英語の和訳も楽に解くことができました。

英語多読のおかげで、英文を読むスピードが格段に上がっただけでなく、勉強の効率も良くなって理解もより深まり、苦手だったはずの英語自体が次第に好きになりました。ＳＥＧには感謝しかないです。

思った時がスタートの時 早速多読を始めよう！

「多読で受験？」と思われる方も少なくないでしょう。しかし、毎年、新高３の春期から多読を始めた方の多数が、受験に成功しています。この時期になると、「文法・構文・単語の暗記しかない」と思われがちですが、それだけが効果的な英語学習法ではありません。

多読を始めれば、英文を読む速度が速くなり、英語に関する勘も向上するので、普通の受験勉強と並行して多読をすることは大学入試対策としても実は効果的なのです。

一般入試対策、４技能入試対策の２つのコース

ＳＥＧの受験英語多読では、

（１）一般入試対策のEFGHコース

（２）４技能入試対策のTコース

の２コースを開講しています。

EFGHコースは、国公立大学の２次試験、私立大学の入試対策のクラスです。EFGHは選抜制ですので、４月からの通常授業受講には入会試験を受験し、合格することが必要です。

Tコースは、４技能対策で、TOEFL iBTでの高得点を目指すクラスです。通常授業、季節講習ともに資格制で、T＃はiBT83以上、ITP560以上、TクラスはiBT63以上、ITP490以上が認定基準です。

認定基準の詳細はWebをご覧ください（下記参照）。お申し込み時にいずれかの証明書を添えてお申し込みください。

コース案内

一般入試対策：受験英語多読EFGHコース

4-6月期 4/9（火）開講　開講曜日については、46ページをご覧ください。

受験英語多読G/Hクラス

ICU、早大国際教養などの英語重視の私立文系から、東大文系、一橋などの国立文系、慶應、慈恵、順天などの私立医学部や、東大理系、東工大などの国立理系、東大理Ⅲ、医科歯科大などの国立医学部など、英語で差をつけたい受験生を対象に、長文問題演習を中心に、和訳、英訳、自由英作文、文法、語彙・語法、リスニングまで総合的な英語力を養います。Gは中級レベル、Hは上級レベルです。９月からはテストゼミとなります。春期講習はご自身の合格クラスに応じて 受験英語多読G または 受験英語多読H を受講してください。

受験英語多読Fクラス

東大・国公私立医学部から私立文系まで、幅広い受験生を対象に、授業内多読と長文問題演習を中心に、和訳、英作文、文法、語彙・語法、リスニングまで総合的な英語力を養います。９月からはテストゼミとなります。春期講習は 受験英語多読F を受講してください。

受験英語多読Eクラス

国公私立理系志望で英語が苦手な受験生を対象に、授業内・課外多読を行い、精読パートでは文法・構文の基礎を徹底的に固め、それをもとに、長文読解、精読、英作文につなげます。９月からはテストゼミとなります。春期講習は 受験英語多読E を受講してください。

TOEFL対策：受験英語多読Tコース

4-6月期 4/9（火）開講　開講曜日については、46ページをご覧ください。

留学・内部進学・推薦入試・AO入試のため、TOEFL iBT での高得点を目指す受験生を対象とし、日本人講師による授業内多読指導と、外国人講師による Writing, Speaking, Listening, Discussionを中心とする授業です。外国人講師の授業では、North StarのTOEFL iBTのテキストを用いる他、旬のニュースも題材とします。

※Ｔコースは資格制です。受講認定基準はWeb（http://www.seg.co.jp/tadoku/2019/tadoku-t.htm）でご確認ください。お申し込み時にいずれかの証明書を添えてお申し込みください。

レベルごとに教材が異なりますので、４月からの通常授業の受講も検討中の方は、春期講習受講前にクラス分け試験を受験して、４月以降の講座と同じコース・レベルの講座を受講してください。

入試対策コース

受験英語多読G/H

受験英語多読G/H 指定講習
G中級～上級　H上級　200分×5日間

春期講習では、多読で英語力を養いながら、要約演習・自由英作文演習を行います。精読パートでは、東大等の難関大学で必須の要約問題、および、和文英訳に代わって全国の大学入試で主流になりつつある自由英作文問題への対策に的を絞った集中授業で、これらの問題に対処するための基礎を固めます。多読パートでは、５日間で７万語以上の読破（課外読書を含む）を目指します。個別に対応しますので、多読未経験者の参加も大歓迎です。

受験英語多読F

受験英語多読F 指定講習
F中級　200分×5日間

多読で英語力を養いながら、精読演習で入試対応力をつけていく講座です。精読は毎日300 ～ 500語程度の英文を、各文の構造や論説文の論理構造を丁寧に分析しながら読み解きます。予習を前提に授業を行いますので、十分準備したうえで出席してください。多読では、文章全体の流れを追う練習をします。多読は個別に指導しますので、多読未経験者の参加も歓迎します。

受験英語多読E

受験英語多読E 指定講習
E基礎　200分×5日間

英語を英語のまま理解する力を授業内多読および課外多読で伸ばし、同時に大学入試即応の英語力を伸ばす訓練をします。文法・構文を重視し、その基礎を固める中で和訳・長文読解・英作文の力を伸ばしていきます。多読は個別に指導しますので、多読未経験者の参加も歓迎します。

TOEFL対策コース

TOEFL受験多読T/T＃〈資格制〉

受験英語多読T/T＃ 指定講習
T中級　T＃上級　200分×5日間

TOEFLを受験する必要のある受験生を対象に、英語を英語のまま理解する力を多読でさらに伸ばし、同時に、TOEFL即応の英語力を伸ばす訓練をします。多読指導は日本人講師が、TOEFL対策の授業は外国人講師がすべて英語で行います。外国人講師の授業に積極的に参加することが必要です。Writingの仕上げは課外でも必要です。なお、多読経験は問いません。

※「TOEFL受験多読T/T＃」は資格制です。受講認定基準はWeb（http://www.seg.co.jp/tadoku/2019/tadoku-t.htm）でご確認ください。お申し込み時にいずれかの証明書を添えてお申し込みください。

この他に、Writing力養成・上級/中級　問題演習で鍛えるバイリンガル論述力α（41ページ）があります。

※春期講習の各講座の開講日程・担当講師・受講料については、別紙の「講座日程表」をご覧ください。

高３英語多読各クラス 2018進学実績

H	東大（理Ⅰ・理Ⅱ・文Ⅰ・文Ⅱ・文Ⅲ）、京大（理・法）、北大（医）、東北大（理）、筑波（医）、新潟（医）、横国大（経済）、東京外大（国際社会）、慶應（医・理工・経済）、早大（創造理工・国際教養・政治経済）、ＩＣＵ、順天堂（医）、東邦（医）、上智
G	東大（理Ⅰ・文Ⅲ）、京大（工）、医科歯科（医）、大阪大（基礎工）、東工大、北大（総合教育）、一橋（商）、筑波（医）、東北大（工）、千葉（工）、信州大（医）、横国大（理工）、東京海洋、慶應（理工・文・商）、早大（創造理工・文化構想・文・商）、昭和（医）、杏林（医）、理科大、青山 ほか
F	東工大、東京外大（国際社会）、学芸大（教育）、お茶の水（理）、農工大（農）、首都大、慶應（総合政策・環境情報）、早大（政治経済）、女子医（医）、ＩＣＵ、中央、立教、青山 ほか
E相当（基礎）	東大（理Ⅰ）、お茶の水（理）、信州大、慶應（理工・総合政策）、理科大 ほか

理科を学ぶ

理科を学んだ度合いは「入試問題で点が取れる」ということで推し量ることができます。学習塾の大切な役割の一つが点を取れるようにすることです。実際、点の取り方には技術（コツ）のようなものがありますから、それを伝授してもらうことは有効な勉強方法と考えることができます。しかし、ある時は点が取れたけれど学校の実力試験、模擬試験や入試本番では取れなかったということもよくあることです。今まで点が取れてきたのになぜ？　努力が不足していた？　緊張して実力が出せなかった？ などのもっともらしい理由をつけて指導することもできますし、本当に努力が不足していたということも多いのですが、的外れな理由を考えている人も多くいます。

生徒さん自身の成功体験を理論化するSEG

「解けなかった問題を反復して解けるようになるまで学習する」はよく用いられる学習方法です。ところが意外と効率的ではありません。酷いケースでは問題文まで覚えるぐらいに繰り返し学習したにも関わらず、微妙にしか違わない問題で間違えてしまうこともあります。みなさんは自分で問題が解けた（正解した）ときに、「どうして解けたのか?」を自問することがありますか？　頑張ったからとか十分に演習して学力が花開いたからとかという程度の感覚では、次も解くことができるという保証は得られず、せっかくの成功体験が雲散霧消してしまうこともあります。法則を学んだり項目を覚えたりするだけでなく、「理科の思考方法」を学び「問題に正解できる」こと自体を理論化するのがSEGでの授業です。

いたずらに結果を追い求めないSEG

「多量に問題を解いて多量に正解できるようになればできるようになった！」というのは全く正しくない考え方です。正解できるようになることはできるようになったことを意味しますが、「多量」ができるようになったことの必要条件とは限りません（数学の論理とよく似た考え方です）。

多量演習正解（マルがたくさん）の呪縛は「基礎問題の反復学習」につながります。本文の長さが5行程度の問題であれば、一部の法則を覚えているだけで正解できますし、短時間に多くの問題を解くことができます。法則一つひとつを覚えることには効果があるのですが、それは理科の主目的ではないですし、大学入試でも役に立つ場合は少数です。経験的事実や法則を組み合わせることで、未知の事象へ思考を広げることができる土台を頭の中に作ることが大事なのです。

思考問題を提供するSEG

学力別に問題を用意して、階段を上るように学んでいくというのは良い手法です。しかし、階段の下段の問題が頭を使うことなく反射的に答えることが要求される問題の集まりになっていると、どんなに大量の問題を解いても階段を上ることはできません。上段に上るための思考力を鍛える問題が組み込まれていないといけません。SEGではそのような問題を提供するように心がけています。

なによりも楽しい（知的好奇心をくすぐる）のが一番

授業は分かりやすいことが大切ですが、学ぶことに喜びが伴わないのは全くダメですし、喜びが試験の点数だけでは寂しすぎます。物理・化学自体が面白いと思えることをSEGでは重視します。授業が笑えるという楽しさは2番目ですね。

まずは講義を行います

授業では、はじめに授業課題となる項目の講義を基礎から発展までまとめて行います。未習であってもその項目の理解が可能となる講義です。学校などで講義を受けたことのある項目の場合は「無駄」のように感じることもあるかもしれません。しかし、発展だけを扱うとか基礎の確認だけを行うというのは、全体的な理論「体系」を自分の中に構築することにはなりません。そこで、基礎から発展までの講義をひとまとまりとして行います。

理論体系の基礎確認 演習はある程度講義が進んでから

理科の法則・考え方は相互に結びついていて、全体で一つの体系を作っています。物理を例にとると、電磁誘導という項目には、力学での運動方程式と力学的エネルギーという項目が強く結びついています。化学を例にとると、希薄溶液の性質という項目には化学平衡や化学結合という項目が強く結びついています。

体系の修得のためには一つの項目が終了したらすぐ演習！　というわけにはなかなかいきませんので、SEGの演習は大きな区切りでの講義が終了してから開始されます。高2の間は講義に集中し（忘れないための演習は行います）、高3になったら演習に集中するという構成になっています。

授業ノートが理論体系を与えるような授業と板書

教室での板書は、宿題の答を書き写させたり、「ここが要点！」というものを強調するためのポップではありません。生徒さん自身が手を動かしながら、話の流れがその場で実感できるようなものでなくてはいけません。そうであってこそ見直す時に話の流れが再現できるのです。授業ノート自身が指南書になるような板書をSEGでは心がけています。

Hクラス

物理・化学にはHクラスが設置されています（一部のコースにはありません）。クラス分け試験で振り分けられる最上位のクラスですが、在籍することに価値があるのではなく、在籍に見合う努力が要求されることに価値があるクラスです。授業で提供する情報量が他クラスよりも多く、受験には不要では？ と疑問視されそうな内容にも触れますが、稀に入試で出題されることもあり、決して無駄ではありません。勉強は効率が全てではありません。無駄を楽しめるだけの余裕があれば、受験など恐れるに足りずです。それだけの授業内容を提供しています。

授業システムと4月入会のご案内

目的があり時間に余裕があるなら高1春期からスタート

ＳＥＧの理科では高２スタートのコースを基本とし、ほかのことに時間を回したい方のための高３スタート（高２の1-2月期スタート）のコースがあります。これらのコースとは別に、理科が好き、何らかの大会に出場する準備をしたい、など理科に回す時間があるという方のために高１スタートのコースが用意されています。化学に加えて、2019年から物理の高１スタートのコースも開講されます。次の表に受験までの大まかな学習の流れを示します。

2019年スタート 高１物理Zカリキュラム

2019年より高1スタートの物理のコースが開講されます。レベルは1つですが入会試験があります。

高1							
2019	春期講習	4-6月期	夏期講習（前期）	夏期講習（後期）	9-11月期	冬期講習	1-2月期
物理Ｚ	音や光の振動数	運動の法則 重力	振り子の運動	電気の力	蒸気機関 電流	電磁誘導	電気回路
高2							
2020	春期講習	4-6月期	夏期講習（前期）	夏期講習（後期）	9-11月期	冬期講習	1-2月期
物理Ｚ	音や光が 伝わる速さ	原子の理論	回転体の運動	特別講義※1	基礎演習 （力学・電磁気）	基礎演習 （熱・波動）	応用演習 （交流・原子物理）
高3							
2021	春期講習	4-6月期	夏期講習（前期）	夏期講習（後期）	9-11月期	冬期講習	直前講習
物理Ｚ	応用演習	応用演習	オプション （大学別講座等）		テスト演習	オプション （各種対策講座・テストゼミ等）	

※1 ホログラフィー・電磁波・熱雑音・ファンデルワース状態方程式・理想気体のエントロピーを予定しています。

2019年スタート 高１化学YZカリキュラム

高1スタートの化学のコースは試験により2レベルにクラス分けされます。

高1							
2019	春期講習	4-6月期	夏期講習（前期）	夏期講習（後期）	9-11月期	冬期講習	1-2月期
化学ＹＺ	原子構造	化学結合 物質の三態	化学反応と熱 反応速度	化学平衡	希薄溶液の性質 酸塩基反応 電離平衡	固体結晶	酸化還元反応 電池・電気分解
高2							
2020	春期講習	4-6月期	夏期講習（前期）	夏期講習（後期）	9-11月期	冬期講習	1-2月期
化学ＹＺ	有機化学 構造理論	有機化学 物性・高分子	無機化学 典型元素	無機化学 遷移・両性元素	理論化学 基礎演習	無機・理論 融合演習Ⅰ	有機化学 総合演習
高3							
2021	春期講習	4-6月期	夏期講習（前期）	夏期講習（後期）	9-11月期	冬期講習	直前講習
化学ＹＺ	無機・理論 融合演習Ⅱ	理論化学 応用演習	オプション （大学別講座等）		テスト演習	オプション （各種対策講座・テストゼミ等）	

2018 合格者の声

基礎部分を意識した授業で今後も役立つ学び

堀内 萌里 さん

東京大学
理科Ⅱ類進学
（雙葉卒）

高2から受講した化学と数学は、いずれも学校の既習範囲ではあったのですが、全く違う見方を教えていただくことが多く、授業は驚きの連続でした。化学では、反応の根底に共通する理論を教えていただきましたし、数学では数式の表す内容を深く考えることが多かったと思います。とりわけ数学の場合、問題をひたすら解くのではなく、一冊一冊のテキストを時間をかけて演習します。じっくりと問題に向き合う姿勢を身につけられたことで、高3夏以降の「制限時間のある問題演習」にも、スムーズに移行することができました。

一方、物理は受験を意識して高3から受講し始めたのですが、だんだんと面白くなっていきました。高3になっても学問として楽しく学んでいけるのは、ＳＥＧならではだと思います。理科の先生方は、原理など基礎部分をしっかり意識した授業をされる方が多く、その姿勢はこれからのどんな勉強にも役立つのではないかと感じています。

理科は高２春期スタートが基本です！

ＳＥＧの理科では高２スタートのコースが基本になっています。高２の間は理論を基礎から構築することに時間をかけて、高３では演習に専念するというカリキュラムスタイルです。高２の講義では授業時間が十分にとられていますので、高校範囲を少し超えた高所から講義することもあります（このため授業時間が足りなくなり延長することすらあります）。高３の演習は予習解説型とテストゼミ型※2の２セット行われます。予習解説型では項目毎に授業が進み、テストゼミでは項目がシャッフルされた演習が課されます。次の表に受験までの大まかな学習の流れを示します。

高２スタートのコースには高校範囲にとらわれない発展的学習に軸足を置いたHクラス（最上位クラス）が設置されています。FGクラスでも必要に応じ高校範囲にとらわれない授業を行います。

※2 テストゼミとは授業の前半でテスト演習を行い、後半ですぐに解説し、答案は回収採点する（後日返却）という授業スタイルです。

2019年スタート 高２物理FGHカリキュラム

高２スタートの物理のコースは３レベルにクラス分けされます。Hクラスは若干カリキュラム進度が異なりますがFGクラスとある程度の互換性があります。

高2							
2019		春期講習	4-6月期	夏期講習（前期・後期）	9-11月期	冬期講習	1-2月期
物理	H	力学導入 （運動方程式）	力学の基礎と応用	熱力学研究 振動と波動	電場・磁場	直流回路	交流回路 光波
	FG		力学の諸法則	熱力学研究 回転運動の力学			交流回路 振動と波動
高3							
2020		春期講習	4-6月期	夏期講習（前期・後期）	9-11月期	冬期講習	直前講習
物理	H	原子	力学・熱力学 弾性波動実戦演習	電場・電気回路演習 磁場・光波演習	テストゼミ （全分野）	各種対策講座 直前演習・テストゼミ	
	FG	光波	力学・熱力学 波動実戦演習	電磁気演習 原子講義・演習			

2019年スタート 高２化学FGHカリキュラム

高２スタートの化学のコースは３レベルにクラス分けされます。３レベルのカリキュラム進度は同一です。

高2							
2019		春期講習	4-6月期	夏期講習（前期・後期）	9-11月期	冬期講習	1-2月期
化学	FGH	化学理論導入 原子構造・周期律 化学結合	化学理論発展 物質の三態 熱・速度・平衡	化学物性理論 酸塩基 酸化還元	無機化学 導入～発展	有機化学導入 構造理論 異性体	有機化学発展 物性・医薬品 高分子
高3							
2020		春期講習	4-6月期	夏期講習（前期・後期）	9-11月期	冬期講習	直前講習
化学	FGH	理論完成① （演習）	理論完成② （演習）	無機・有機 物性完成 （演習）	テストゼミ （全分野）	各種対策講座 直前演習・テストゼミ	

とにかく頑張るしかない！ 高３春期からでも追いつこう！

入試開始まで1年を切っています。グダグダ考える前に手を動かしましょう。ＳＥＧの理科では最後の砦となる高３春期スタートのカリキュラムも組んでいます。ハードですがやるしかないと考えて取り組んでください。次の表に大まかな学習の流れを示します。

2019年春期スタート 高３物理速修・化学速修カリキュラム

春期講習では「ダイジェスト講座」と「指定講習」の２つの講座を受講してください。これにより、高２の１月から開講している「速修コース」に編入可能です。

授業は講義を主とします。演習問題は予復習用および自習用問題をテキストで用意します。

ダイジェスト講座の最終日には講座の内容を出題範囲とした入会試験を実施します。

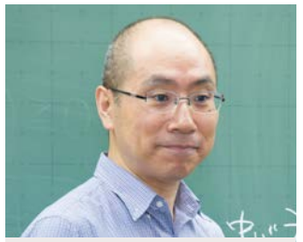
高３						
2019	編入講座（春期講習）	春期講習	4-6月期	夏期講習（前期・後期）	9-11月期	冬期・直前講習
物理速修	物理速修ダイジェスト（力学導入～発展①）	力学発展②	波動（音波・光波） 静電場 （コンデンサー含む）	直流回路 磁場・電場誘導	電磁気・交流 熱力学・原子物理	各種対策講座 直前演習・テストゼミ
化学速修	化学速修ダイジェスト（理論化学導入）	熱・反応速度・平衡	理論化学 （酸塩基・酸化還元含む）	無機化学 （全項目）	有機化学 （全項目）	

なお、学校や自学で順調に理科の学習が進んでいる方は受験物理・化学FGHコース（32ページの高２スタートのコース・カリキュラムをご覧ください）への編入をご検討ください。ただし、４月からの各コースへの入会には入会試験を受験して合格していただく必要があります。

主任講師からひとこと

根本の考え方やアプローチの方法を大事に

我々が使う便利な道具や身の周りで起こるできごとは、すべて数少ない物理法則に支配されています。数式で表現された法則であらゆることが例外なく説明できるという「理論の凄さ・美しさ」を知り、それを身につけてしまえば、入試をはじめあらゆる問題を解決できるようになります。がむしゃらに問題を演習するだけでは見通すことのできない、根本となる考え方や問題へのアプローチの方法を大事にするのがＳＥＧの物理です。



物理主任講師　椿 信也
東京大学理学部物理学科卒
神奈川県立追浜高校卒

「知らないから分からない」から「考えれば分かる」へ

覚えることが苦手だから理系を選んだはずなのに「化学は知識科目、知らなければ分からない、でも理系入試には必須……」と悩まれている方も多いでしょう。まずはその先入観を捨てて、ＳＥＧの化学に触れてみてください。化学現象を支配する考え方を構築し、ごくわずかの知識さえあれば、あとは「考えれば分かる」と思える授業を展開します。知識科目という感覚は覆されるはずですよ。

化学主任講師　阿部 太朗
東京大学教養学部基礎化学科卒
筑波大学附属駒場高校卒

小テスト、クラス分け試験

高２化学ではある程度学習が進んだ９-11月期から、毎週小テスト（10分程度）を行います。小テストの成績は次の学期のクラス分け試験に加点されます。

物理・化学ともに、原則として、高1～高3の学期ごとにクラス分け試験が複数回実施され、クラスが上下します。クラス分け試験を通して理解の不足・欠落部分を確認してもらい、授業内容を応用・運用することを学んでもらいます。返却された答案を通して自分の理解度を確認することが試験の主たる目的です。

テストゼミ

高1・高2から始まるコースでは、高３の９-11月期にテストゼミ（テスト演習）が行われます。答案は、今後必要となること、弱点の確認などのコメントをつけて、採点・添削されます（白紙や満点の答案などにはコメントはつかないことがあります）。本番に向けて、弱点の補強と気分の高揚を図ります。

理　科　受講生の声

●自分がどこを間違えたのか、なぜ間違えたのか、さらにどうすれば良かったのかなど、とても丁寧に教えていただき、かなりの実力がつきました。また自分では良いと思っていた解答も実は間違っていた、ということもよくあったので本当に助かりました。
（学芸大附属→東京大学理科Ⅰ類）

●毎回とても丁寧に見てくださり、「もっとこう書く方が良い」とか、時には「これだとほとんど点数が取れない」とか、厳しく、でも優しいコメントをいただき、とてもやる気につながりました。（桜蔭→東京大学理科Ⅱ類）

欠席しないでください

理論体系を構築している時期（主として高２）の講義は、抜けが許されません。欠席は大きなダメージとなりますのでご注意ください。欠席した場合、《授業ノート》《授業配布プリント受け取り》《講師への質問》《チューターへの質問》等でカバーしてください。詳しくは44ページをご覧ください。

サブテキスト

化学では大項目の授業開始時に、穴埋め小問も含めた詳細項目の知識確認問題集（理論化学チェックシート・無機化学チェックシート・有機化学チェックシート）と、短答型の基本問題集が配布されます。それぞれ、自分の勉強の進み具合を確認したいとき、自分のペースで自分がやりたいと思ったときに勉強できるような道具となります。

理　科　受講生の声

●化学チェックシートは、化学の基礎から少し発展的な問題をコンパクトにまとめた問題集で、私はすべての問題を解きました。なかでも苦手分野の理論化学のチェックシートは、講義ノートを参照しながら２周したことで苦手をつぶすことができました。
（麻布→東京大学理科Ⅱ類）

●化学は先生に言われたとおりセンター過去問を25年分解いたのですが、その復習の時に使ったのがチェックシートです。基本的な知識が全て網羅されているのでとても使いやすいです。苦手分野だけ選んで解くこともできるので受験期にはとても重宝しました。
（豊島岡女子→東京工業大学第２類）

途中入会

カリキュラムの開始時期に入会するのがベストですが、高２夏期・高３春期には、途中入会者向けのダイジェスト講座（入会試験付）を用意しています。

●ダイジェスト講座

高３春期には物理速修・化学速修の、高２夏期には高２物理・化学の途中入会用の講座が用意されています。途中入会のために必要となる知識や、それまでにＳＥＧで行われた内容をダイジェストで提供します。

●入会試験

学期ごとに入会試験が用意されています。試験では、ＳＥＧのカリキュラム上ですでに修了した項目の確認、およびこれからの学期に必要な知識の確認が行われます。概ね1時間程度の論述型の試験です。

授業方針

理科が好きなら 勉強は先送りする必要はありません！

勉強というと、数学・英語・国語（文系）が基本で理科や社会は数英国の学力が安定してからという風潮があります。それも考え方の一つではあるのですが固定観念とも言えます。好きな科目に時間を回すのは好きである時が大切で、先送りにすると熱が冷めてしまって好きでなくなってしまうかもしれません。「好き」である時間を大切にするように勉強することをＳＥＧではお勧めします。もし物理や化学が好きならば高１から始める（なんなら中学生の頃から始める）のも良いと思います。受験を考えるなら理科は高２スタート（理系）というのが穏やかな判断ですが、皆さんに情熱があるならＳＥＧで高１から理科を学んでみませんか？

物理の発展の歴史に目を向けよう！ ──2019年 新しく高1物理が開講されます

物理では数学的側面が強く打ち出され、法則を単純化して自然界をシンプルに表現しようとします。しかし、その法則がどのような考え方のもとに生まれたか、どのような紆余曲折を経て成立したかを学ぶ場面は高校では少ないというのが現状です。高１スタートの物理では、数学的側面を先行せず、物理の考え方がどういうものか？　どのように成立したか？　成立過程の中での失敗は？（失敗に学ぶ）などの歴史的背景を重要視します。

化学は面白い！ 奥深い！ 考え方を体験しよう！

化学は楽しい科目です。身の周りの物質の成り立ちや現象が解き明かされていく科目です。クイズ番組的に知識を並べるだけでも面白いのですが、それだけではネットで検索するのと変わらず、頭に入れてしまおうとすると知識で頭がパンクし覚えることに飽きて化学が嫌いになってしまうかもしれません。ＳＥＧでは「知識」の背景にある「考え方」に注目して「未知の知識でも推測できる」「意外と覚えなくても対応できる」という勉強を進めるような授業を行います。

考える授業

「基本法則を覚え」「反応式を覚え（化学）」、基礎問題と入試問題の演習を多量にこなすという授業はＳＥＧでは行いません。基礎演習も入試演習もＳＥＧでは行いますが、際限ない演習・量をこなす勉強にならないように工夫します。「考え方自体」を学び、できるだけ「覚えることを減らせる」ように頭を働かせるにはどうしたらよいかを授業で考えます。

塾ですので厳しく

来て座っているだけという勉強姿勢をＳＥＧは望みません。時間を費やすのですから「自らも参加するような意識」で勉強してもらいたいと思います。受け身の姿勢での受講はどうしても「欠席」や「課題のサボり」を生み出してしまいます。

生徒さんの学力を見ることが目的ですが、引き締めも目的である学期ごとの試験があります。化学では試験の結果で２レベルにクラス分けします。

コースと春期講習講座案内

高1物理Zコース

4-6月期 4/9（火）開講　開講曜日については、46ページをご覧ください。

高１から高３まで約３年間かけて物理を学びます。高２夏期途中までに、高校で扱う物理の法則およびその考え方が成立した過程を講義します（講義型授業）。高２の９-11月期から高３の４-６月期までに、学んだ項目に対して基礎～応用演習を行います（演習型授業）。高３の９-11月期はテストゼミです（テスト演習型授業）。

コースの受講には春期講習 **音と光の振動数**（無試験）の受講と、春期講習講座最終日の入会試験での合格が必要です。

高1化学YZコース

4-6月期 4/9（火）開講　開講曜日については、46ページをご覧ください。

高１から高３まで約３年間かけて化学を学びます。高１で化学法則の考え方＝理論を学び（講義型授業）、高２の春期から夏期講習にかけて化学物質の性質＝物性などの考え方を学びます（講義型授業）。高２の９-11月期は理論の基礎演習、高２の冬期から高３の春期までに物性の応用演習、高３の４-６月期に理論の応用演習を行います（演習型授業）。高３の９-11月期はテストゼミです（テスト演習型授業）。入会時および学期ごとの試験によりＹ（中級）とＺ（上級）にクラス分けされます。

コースの受講には春期講習 **物質を作る原子の構造**（無試験）の受講と、春期講習講座最終日の入会試験での合格が必要です。

新高１物理・化学　春期講習講座案内

季節講習だけであっても、その項目について有意義な時間が過ごせるように授業しますので、体験的に季節講習だけの受講という受講スタイルも歓迎します。各季節講習で必要となる前提知識は事前にお問い合わせください。高１の春期講習のみ前提知識を必要としない授業になっています。

物理

音と光の振動数

入会試験付　新高1物理Z 指定講習 180分×5日間

昔から人々は音や光に魅せられてきました。自然と数学を初めて結びつけたのはピタゴラスの和音の研究だと考えられています。光の研究も起源は古く、ユークリッドが幾何学と結びつけて論じています。このような研究は音や光の本性についての議論とともに続けられました。この講座では紀元前から近世までの、音についての比較的順調な進展、そして光についての紆余曲折を紹介します。講座最終日には春期講習の授業内容を中心とした入会試験が実施されます。

化学

物質を作る原子の構造

入会試験付　新高1化学Y/Z 指定講習 180分×5日間

さあ、化学を学び始めましょう。この講座では、物質はどう成り立っているのか？ を学びます。そのために物質を構成している原子を知る必要があります。テレビ番組のような原子の紹介をするのではなく、原子自体が従うと考えられている法則・規則を講義します。堅苦しい用語を用いると「電子配置と構成原理およびイオン化」を講義します。中学程度の理科の予備知識と集中力があれば受講できます。講座最終日には春期講習の授業内容を中心とした入会試験を実施し、４月からのクラス「Y/Z」の合否を判定します。

※春期講習の各講座の開講日程・担当講師・受講料については、別紙の「講座日程表」をご覧ください。

授業方針とコースのご案内

高2・高3の2年間一貫コースです

ＳＥＧでは、高2・高3の2年間で、じっくりと、物理・化学を基礎から深いレベルまで学ぶコースを春期講習から開講します。高3の夏期まで講義を中心とした授業を行い、高3の9月からはテストゼミを行います。

※化学では、高1から既に始まっている３年間コース（YZコース）も開講しています。

高2で理論体系を構築します

高2の段階では講義を重んじ、安易な反復学習（小問の大量演習）に頼ることなく、全体的な理論体系を構築する授業を行います。理論体系を基礎から構築する、または既習の内容から再構築するのが特長です。物理・化学ともに、F（基礎）、G（中級）、H（上級）の3レベル編成です。

物理コース案内

高2物理FGHコース

4-6月期
4/9（火）開講

開講曜日については、46ページをご覧ください。

高2物理F/Gクラス

高2の間はとにかく講義！ 高校物理の全体像を一通り提示する講義型授業です。演習は全体像を見渡し終わる高3から始まります。

※曜日により、FG合同クラスの開講となる場合があります。

高2物理Hクラス

講義中心の授業ではありますが、ある程度は自分で予習し、授業中は頭を働かせて発展内容に集中します。高校範囲にとらわれることはありませんが、高校範囲の逸脱を目的とはしません。数学を活用し、高所から見ると高校範囲が見渡せるということが目的の一つです。

化学コース案内

高2化学FGHコース

4-6月期
4/9（火）開講

開講曜日については、46ページをご覧ください。

高2化学F/Gクラス

化学の項目を、理論→無機化学→有機化学という順番で講義します。化学法則が独立な知識の集まりではなく、きれいに結びついていると分かることがこの順番で行われる授業の目的です。高3からは知識の確認も含めて演習が始まります。

※曜日により、FG合同クラスの開講となる場合があります。

高2化学Hクラス

カリキュラムは高2化学F/Gと共通ですが、物理法則を用いた厳密な考え方や生物の知識、日常生活との関係に結びつけ、さまざまな化学現象が必然的な自然なものに見えるような講義を行います。また各回の講義内容に合わせた応用・発展的な課題問題を提供します。

高2化学YZコース

4-6月期
4/9（火）開講

開講曜日については、46ページをご覧ください。

すでに高1の段階で学習が先行している方向けの授業です。化学平衡など極めて重要な項目は理解していることを前提として授業を行います（詳しくは、31ページの高1の進度表をご確認ください）。高2の前半は有機化学と無機化学、高2の後半からは演習が始まります。

春期講習からのスタートです

物理： 高2物理FGHコース受講希望の方は、春期講習で、数Ⅱ微分未習者対象の 学び始める物理α あるいは数Ⅱ微分既習者対象の 学び始める物理β を受講してください。
また、高2物理Hクラス受講希望の方は、春期講習で 学び始める物理β と ＳＥＧ物理Ｈ入門 をあわせて受講してください。

化学： 高2化学FGHコース受講希望の方は、春期講習で 構造と結合の化学 を受講してください。春期講習はレベル分けはありません。
高2化学YZコース受講希望の方は、春期講習で 有機化学・構造理論 を受講してください。春期講習はレベル分けはありません。

※物理の受講レベルを迷われる方向けに「判定問題」を用意しています。受付までお問い合わせください。

※4月からの通常授業は全クラス選抜制ですので、受講には入会試験での合格が必要です。春期講習の入会試験付の講習を受講できない方は、別途、入会試験を受験してください。

新高２物理・化学　春期講習講座案内

「学び始める物理」と「構造と結合の化学」は高校理科の学習が白紙状態であったとしても受講できます。理科についてはまさに一から講義するからです。理科に対する熱意だけ持って教室においでください。なお、考えることが嫌いとか、３時間集中できないという方には受講をお勧めできません。

物 理

学び始める物理α/β

入会試験付

新高2物理F/G/H 指定講習
α基礎 β中級～上級　180分×5日間

本当に物理を初めて学ぶという方を対象とした講座です。運動方程式などのニュートンの運動の法則を講義します。講座最終日の入会試験で、４月からのクラス「F/G/H」の合否を判定します。

ＳＥＧ物理Ｈ入門

新高2物理 特別講習
上級　180分×1日間

「学び始める物理β」受講後、そこで扱われた内容が大学では数学を活用してどのように記述されるかをのぞいてみる講座です。ただし大学の内容を授業するのではなく、高校範囲を高所から見るとどうなるかを講義します。４月からの「高2物理H」受講希望者向けです。「学び始める物理β」を受講された方で、容赦なく数学を用いると法則がどう記述されるか興味を持たれた方はぜひ受講してください。

化 学

構造と結合の化学

入会試験付

新高2化学F/G/H 指定講習
180分×5日間

高校化学の入り口である原子構造・電子配置・周期律・化学結合・分子間力を中心に講義します。講座最終日の入会試験で、４月からのクラス「F/G/H」の合否を判定します。

有機化学・構造理論

新高2化学Y/Z 指定講習
180分×5日間

覚える分野と思われがちな有機化学を理論化する講座です。有機化学についての知識は白紙でも構いません。ただし、高校理論化学の分野の履修が一通り終わっていることが必要です。

※春期講習の各講座の開講日程・担当講師・受講料については、別紙の「講座日程表」をご覧ください。

コースと春期講習講座案内

物理・化学ともに、次の2つのコースが用意されています。

■学力を基礎から再構成するコース

物理速修・化学速修がこれにあたります。クラス分けはなく単一レベルのコースです。学校で学んだけれども抜けが多く基礎からやり直したい、学校の進度が遅く全体の見通しが悪いなどさまざまな方に対応します。なお、やさしいコースではありません。授業が基礎から始まるだけで、授業内容は高難度なレベルを目指します。

■基礎学力を前提に実践演習を繰り返すコース

物理演習FGH（3レベル）、化学演習FGH（3レベル）がこれにあたります。学期ごとに試験でクラス分けされます。学校やＳＥＧなどで高校範囲を一通り見渡したという方向けのコースです。

物理コース案内

受験物理速修コース

4-6月期 4/9（火）開講　開講曜日については、46ページをご覧ください。

基本から発展まで項目を羅列するのではなく、物理法則の姿が見えるような講義型授業です。テキストには達成が要求される問題が適切な量掲載されていて、巻末には演習用類題も十分に取り揃えられています。

受験物理演習FGHコース

4-6月期 4/9（火）開講　開講曜日については、46ページをご覧ください。

物理の全体を学び終わった方を対象に、全体の確認と完成を目的として、問題解説を行います。予習が必須となる授業で、授業中は問題の解法を通して、基礎項目の再確認も行います。

化学コース案内

受験化学速修コース

4-6月期 4/9（火）開講　開講曜日については、46ページをご覧ください。

理論の全体像を頭の中に作り上げようとする講義型授業です。授業のほとんどが講義に使用されます。自習用の問題は基礎から応用まで十二分に提供されます。

受験化学演習FGHコース

4-6月期 4/9（火）開講　開講曜日については、46ページをご覧ください。

化学の全体像を学び終わった方を対象に、全体像の確認と再構築を目的として、問題解説を行います。予習が必須となる授業で、授業中は問題の解法を通して、基礎項目の再確認も行います。

新高３物理・化学　春期講習講座案内

■ダイジェスト講座

物理速修コース・化学速修コースのカリキュラムは1月から始まっています。春期講習には、1～2月に行われた授業のダイジェスト講座を用意しています。

※4月以降の受講を予定されている方は、ダイジェスト講座の後に指定講習を受講してください。

■無試験で受講可能・予習について

春期講習はいずれも無試験で受講可能です。自分の状況・希望するテーマに則した講座を選択してください。なお、理論化学演習 定量編 と 無機と理論融合演習Ⅱ（化学）は大がかりな予習が必要です。十分な予習のうえ、講習に臨んでください。

■各コースの指定講習

4月以降の受講を予定されている方は、春期講習で指定されている講習を受講することが必要です。この講座を受講しないと項目抜けが生じますのでご注意ください。

物理

物理速修ダイジェスト

入会試験付　受験物理速修 新規生専用講習 180分×6日間

新規受講者向けに、高校物理の入り口である力学から、運動方程式・運動量・力学的エネルギーを中心に講義します。講座最終日に入会試験を実施します（主にダイジェスト講座の内容が出題されます）。

力学研究 実践編

受験物理速修 指定講習 180分×5日間

単振動・保存則の応用・万有引力・座標変換など応用的内容を講義し、演習します。1-2月期未受講の方は、「物理速修ダイジェスト」を先に受講してください。

光波研究F/G

受験物理演習F/G 指定講習 F中級　G上級　180分×5日間

1-2月期に学んだ波の基本理論を用いて、屈折の法則を中心とする幾何光学、および光の干渉を中心とする波動光学について、入試に必要な項目を基礎から講義します。

原子物理H

受験物理演習H 指定講習 超上級　180分×5日間

粒子と波動の二重性、ボーア理論、質量とエネルギーの等価性、原子核の理論といった、20世紀になり発見された新しい物理学を学びます。

化学

化学速修ダイジェスト

入会試験付　受験化学速修 新規生専用講習 180分×5日間

新規受講者向けに、高校化学の入り口である化学結合・周期律・物質の三態を中心に講義します。講座最終日に入会試験を実施します（主にダイジェスト講座の内容が出題されます）。

反応速度と平衡の化学

受験化学速修 指定講習 180分×5日間

高校化学の計算で最も大切な基本であり、早期の習得が求められる表題の項目を講義します。

理論化学演習 定量編F/GH

受験化学演習F/G/H 指定講習 F中級　GH上級　180分×5日間

高校化学の計算関係の基礎学力を前提に、滴定問題を中心に解説する、予習を前提とした問題解説型授業です。

無機と理論融合演習Ⅱ Y/Z

受験化学演習Y/Z 指定講習 Y中級　Z上級　180分×5日間

高校化学での計算と、無機化学の知識を融合した入試問題を解説する、予習を前提とした問題解説型授業です。

※春期講習の各講座の開講日程・担当講師・受講料については、別紙の「講座日程表」をご覧ください。

春期講習講座案内

複素函数論の初歩

新高3～社会人 数学 特別ゼミナール
180分×5日間

高校では実数の範囲で微積分を学びますが、これを複素数に拡張すると、実数とは全く異なった美しい世界が広がっています。この講座では、線積分による指数対数関数の複素数への拡張から始まり、Cauchyの積分定理、留数定理、広義積分の計算への応用までを扱います。好奇心旺盛な方向けです。（木村浩二）

前提知識 複素数平面、数Ⅲ微積分

eの超越性の証明

新高3～社会人 数学 特別ゼミナール
180分×1日間

円周率πが無理数である事実は、中学校で習ったはずです。ついにその証明を知るときが来たのです。三角関数の微積分と、$-1<x<1$となる整数が$x=0$に限ることからπが無理数であることを容易に示すことができます。また、πや自然対数の底eは、整数係数のどんなn次方程式の解としても表せない数（超越数）です。eが超越数であることを平均値の定理から証明します。（古川昭夫）

前提知識 平均値の定理

Writing力養成・上級（英検準1級受験生程度）

新高1～新高3英語 特別講習
120分×3日間

英検準1級、TEAP、大学入試等の自由英作文で要求されることは、設問の内容をしっかり理解し、それに応える形で、自分の主張を正しい英語で書くことです。授業では、1. Quick Reading（単パラグラフを読み、テーマ導入）2. Vocabulary Building & Grammar（重要語句・文法の確認）3. Japanese-English Translation（和文英訳演習）4. Idea Construction & Writing（自分の考えを日本語でまとめ、英語になおす）の流れで、内容が深いWritingができるように指導します。

Writing力養成・中級（英検2級受験生程度）

新高1～新高3英語 特別講習
120分×3日間

英検2級等の自由英作文で要求されることは、設問の内容をしっかり理解し、それに応える形で、自分の主張を正しい英語で書くことです。授業では、1. Quick Reading（単パラグラフを読み、テーマ導入）2. Vocabulary Building & Grammar（重要語句・文法の確認）3. Japanese-English Translation（和文英訳演習）4. Idea Construction & Writing（自分の考えを日本語でまとめ、英語になおす）の流れで、内容重視の暗記でないWritingができるように指導します。

問題演習で鍛えるバイリンガル論述力α

新高1～新高3英語 特別講習
180分×4日間

東大・京大・一橋大・東工大などの国公立2次試験や、慶應大・医科歯科大などの医学部で出題される論述問題に対応できる本格的な実戦記述力を身につける演習講座です。医学生物学をテーマとした本格的な超長文を精読することではじめて解答できるような高度な論述問題や、与えられた日本語の文章を読んで得た知識を活用して取り組む英文読解記述問題を演習することで、実戦的な受験英語力を養成します。予習してきた答案は現役医師である講師自らが丁寧に添削、採点して返却します。（吉田剛）

※昨年度春期講習「問題演習で鍛えるバイリンガル論述力α」と、内容が一部重複します。

※春期講習の各講座の開講日程・担当講師・受講料については、別紙の「講座日程表」をご覧ください。

国語 新テスト対策 語彙力増強講座

新高1国語 特別講習
180分×5日間

高校を卒業するまでに、皆さんは英単語を5000語も習得します！ 外国語である英語を覚えるためには母語である日本語、つまり国語の基礎を固めなければなりません。この講座では文字の体系に注目します。日本語にはひらがな、カタカナ、漢字と文字が3つもあります（alphabetも含めると4つも！）。これらの文字は現代文・古文・漢文でそれぞれ違い分けがあるのですが、例えば、漢文の漢字と現代文の漢字は実は異なる漢字なのです。現代文・古文・漢文のそれぞれの言葉の違いを見つけることで、国語の基礎としての語彙力アップを図ります。 特に予習を必要としない参加型の授業です。当日はインターネットで「いろいろな言葉」を検索してもらいます。2020年からの「論理国語」と「文学国語」に分かれる新しい指導要領に対応した講座です。（桑島健太郎）

東大理系国語

新高3国語 特別講習
180分×5日間

東大の理系を受験される方のための講座です。２次の記述試験だけでなくセンター国語の対策もします。「国語の講座を初めてとる方」のことも考えて授業を進めるのでご安心ください。問題の解決法と必要な知識、それに今後の勉強法のお話もします。カリキュラムは国語の基礎である現代文を中心に古文・漢文も基礎から固めます。テキストは東大とセンター国語の過去問で構成されます。適宜小テスト（漢字・古典文法・句法）も行います。（桑島健太郎）

※一部の問題が「センター国語」と重複します。

センター国語（現代文・古文・漢文）

新高3国語 特別講習
180分×5日間

センター国語で160点以上＝80％以上得点しなければならない国公立医学部を受験される方、または国語が苦手で自分一人では対策が難しいと思っている方のための講座です。 1日目と2日目は現代文（評論と小説）を「国語」の基礎＝「論理」「抽象」「実証」的思考力を養う科目としてまず伝授します。 3日目・4日目・5日目は古典（古文と漢文）を文法やボキャブラリーも含めて講義します。すべてセンター試験の過去問を素材として扱います。予習は原則不要です。その代わり休まずに5日間の授業を受講してください。入試直前までの学習の「内容」「道具」「時間」「方法」などの具体的ノウハウについてもお話します。（桑島健太郎）

※一部の問題が「東大理系国語」と重複します。

速読による能力訓練 ～日本語の速読訓練です～

新中3～新高3 特別講習
180分×5日間

「『何をするのかと思ったらとんでもないことをやった』というアンケートを読み、面白半分で受講を決めた。結果は『マジでとんでもないことをしてくれた。絶対一度受けた方がいい』と思った」（講習受講アンケートより／高2男子）

読書が苦手になりかけている方には読む楽しさを、本好きな方にはハイパーな速読の世界を体験していただきます。速読とはいっても奇術的なものではなく、むしろこれまで見過ごされてきた本の読み方の深化・徹底化をめざす内容です。'95年夏からスタートし、現在24年目、8,200名を超えるＳＥＧ生が受講しています。（クリエイト速読スクール 松田真澄）

※この講座をベースにしたプログラムは生涯学習のユーキャンの通信講座にも採用されています。

※春期講習の各講座の開講日程・担当講師・受講料については、別紙の「講座日程表」をご覧ください。

授業外のサポート

●進路・学習・入試相談

受験についてのご相談（志望大学・学部の選択・学習計画・入試情報等）、受講相談、普段の授業で気になることや困っていることなど、あらゆるご質問・ご相談を承っています。Ｈ教室1階受付でお申し出ください。

個別相談専用電話番号▶03-3366-5530（月～土／13:00 ～ 21:00）
ＳＥＧホームページ（http://www.seg.co.jp/）→ページ下部の［お問い合わせ］

会員相談室（Ｈ教室1階）

●集中できる自習環境

授業前の自習には、ぜひ自習室をご利用ください。仲間と切磋琢磨して「一緒に合格する」というのがＳＥＧの伝統です。開室予定は、ＳＥＧホームページでご確認ください。

＊講習期間中は、中1～高2生は、受講している講座の開講期間のみ利用できます。

自習室（Ｔ教室2階）

●参考書・洋書の閲覧

自習室の隣の図書室では、各種参考書、過去問題集などを見ることができます。また、英語関係では、比較的やさしい絵本や児童書などから、難易度の高いノンフィクションや長編小説まで、さまざまな洋書を数多く揃えています。

図書室（Ｔ教室2階）

●講師に相談

授業前後、講師は講師室に在室しています。授業の前後や休み時間を利用して、講師に直接質問をすることができます。授業で分からなかったところなどは放置せずに、積極的に質問しましょう。

＊講師室に直接お越しいただくか、事前にご連絡ください。

講師室（Ｔ教室1階）

●チューターに質問・相談

大学生・大学院生のチューターがみなさんの質問を待っています。授業中に聞きそびれた質問をしたい時、なかなか解けない問題のヒントが欲しい時など、お気軽にご利用ください。チューターは主にＳＥＧ出身の現役の大学生・大学院生です。

＊開室予定は、Ｈ教室1階の掲示、
ＳＥＧホームページ（http://www.seg.co.jp/）→［会員の方］
で確認できます。右記からもアクセスできます。

チューター室（Ｔ教室1階）

●待合室

授業の前後に、ご自分の教室でも食事をおとりいただけますが、食事のとれる待合室を用意しています。もちろん、保護者の方との待ち合わせにご利用いただくこともできます。

●救護室

救護室を用意しています。体調が悪いときは無理をせず、遠慮なく担当講師、または受付にお申し出ください。

待合室（Ｔ教室1階）

●警備

みなさんの安全のため、授業前～授業後、通塾路・建物内で警備を行っています。最後の生徒さんが帰られるまで警備員が立哨していますので、安心してお通いいただけます。教室の場所が分からないなど困ったことがありましたらお気軽にお尋ねください。授業初日には教室割表も配布しています。また、各教室には、防犯カメラが設置されています。

欠席しないでください

ＳＥＧでは、学年・科目・コース・レベルごとにカリキュラムは統一されていますが、各クラスの生徒の状況に合わせて担当講師が創意工夫して教えています。したがって、クラスによって、各回の授業内容や宿題が異なることがあります。また、前の週の授業内容を踏まえて次週の授業が行われます。そのため、できる限り登録クラスに休まず出席してください。

クラス変更

通常授業時、継続的に登録クラスに出席できなくなった場合には、出席できる曜日に登録クラスを変更することができます。変更をご希望の場合には受付までお申し出ください。ただし、変更希望先クラスの定員の都合上、クラス変更ができない場合もあります。

●やむを得ず出席できない日がある場合

通常授業 ▶ 学校行事等でやむを得ず出席できない日がある場合、同一学年・同一レベル・同一授業週のクラスに限り、振替出席が可能です。

- 同一レベルが他曜日にないクラスは振替できません。
- 一部、振替出席ができないクラスがあります。事前に、MyPageまたは受付にてご確認ください。
- 英語多読クラスは、特に満席のクラスが多く、振替できるクラスに限りがあるため事前予約が必要です。振替出席をご希望の場合には、MyPageで事前に振替登録を行っていただくか、受付までお申し出ください。受講人数の状況等により、ご希望に沿えない場合があります。

振替出席をした場合、授業内容には抜けや重複が生じることがあります。下記の「欠席などで抜けが生じた場合」をご参照のうえ、次回の授業までに補ってください。

季節講習 ▶ 振替出席はできません。

＊振替をするしないにかかわらず欠席する場合は、必ず事前に連絡してください。

欠席などで抜けが生じた場合

次回の授業までに次の方法で補うことができます。ただし、あくまでも補助的なものにすぎないことをご理解のうえ、ご利用ください。

●数学・物理・化学

欠席した登録クラス（または数学のみ同レベルクラス）の授業ノートを借りたり、欠席した登録クラスでの配布プリントをもらってください。自習して分からない部分は、次回の授業時に担当講師に質問してください。

＊授業ノートの貸し出し、プリントの受け取りは、受講票をお持ちのうえ、講師室（T教室1階）にお申し出ください。
＊一部、授業ノートがないクラスがあります。ご了承ください。

●英語多読

授業ノートはありません。授業で配布したプリントを、講師室でもらってください。プリントの受け取りには受講票が必要です。自習して分からない部分は、次回の授業時に担当講師に質問してください。

＊多読以外の宿題の内容・有無は学年レベルによって異なりますので、お問い合わせください。

［講師室開室時間：平日15:00 ～、土曜日12:30 ～、講習時は授業開始1時間前～授業終了時まで（日曜日は閉室）］
授業ノートは各自でコピーしてください（Ｔ教室1階にコピー機［有料］があります）。

入会試験を受験

4月からの通常授業は春期講習の内容を前提にスタート[注1]しますので、入会をご希望の方は、春期講習の「指定講習」（もしくは「新規生専用講習」）を受講してください。通常授業は【受験英語多読Tコース】[注2]を除きすべて選抜制ですので、別途入会試験をお申し込みください。なお、春期講習に入会試験が付属している以下の講座については、試験のお申し込みは不要です。

高1	**数学** 整数と合同式R/S	**物理** 音と光の振動数
	英語多読 全クラス	**化学** 物質を作る原子の構造
高2	**英語多読** 全クラス	**化学** 構造と結合の化学
	物理 学び始める物理α/β	
高3	**物理** 物理速修ダイジェスト	**化学** 化学速修ダイジェスト

注1 春期講習をやむを得ない事情で受講できない方は、別途、新規入会試験を受験して、その結果クラスで4月から入会してください（高1物理は新規入会試験はありません。必ず春期講習を受講してください）。
注2 受験英語多読Tコース（資格制）は、入会試験はありません。1/16（水）より先着順にお申し込みを承ります。認定基準はWeb（http://www.seg.co.jp/tadoku/2019/tadoku-t.htm）をご覧ください。

入会試験申込方法

《試験日時・試験範囲・結果発表日》
1月下旬に公開される「試験要項」をご覧ください。以下でもご覧いただけます。
SEGホームページ（http://www.seg.co.jp/）→［入会案内］→［入会試験］

《申込》
受付窓口で、各試験日の2日前までにお申し込みください。
●必要なもの
用　紙：試験申込書・メイト会員登録票・希望曜日届　※受付窓口でお渡しいたします。
受験料：SEGが初めての方……メイト会員登録料500円+受験料（1科目1回1,000円）
メイト会員の方……受験料（1科目1回1,000円）
過去に通常授業を受講していた方……無料

試験結果の確認

SEG MyPage（https://www.seg.co.jp/mypage/）→［試験結果の確認］にてご確認いただけます。
その他詳細は、試験要項にてご確認ください。

入会手続

以下のものをご用意のうえ、窓口または郵送にてお手続きください。
・受講申込書　・入会申込書　・口座振替依頼書
・入会金　25,000円　・受講料

※申込書他について
・受講申込書
・入会申込書
・口座振替依頼書
入会試験のお申し込み時に窓口にて、もしくは講習内試験の発表日までに郵送にてお渡しします。
＊振替口座のご登録は、キャッシュカードでも可能です。

※入会金および受講料について
・初回のみ、現金または振込にて、ご精算をお願いいたします。次回以降の受講料は、口座振替とさせていただきます。クレジットカードはご利用いただけません。
・年間の受講料は、別冊子「入会手続のご案内」をご参照ください。
・受講料にはテキスト代が含まれます。

通常授業を受講

教室は、授業初日にH教室前で配布する「教室割表」でご確認ください。
以下のWebでも、授業前日の21:00までに公開いたします。
・SEG MyPage（https://www.seg.co.jp/mypage/）
→［カレンダー・欠席／振替予約］もしくは［教室割］
・SEGホームページ（http://www.seg.co.jp/）→［会員の方］→［教室割］

SEG MyPage

通常授業4-6月期 開講曜日一覧

4/9（火）～7/1（月）全12週

※開講曜日・時間は予告なく変更となる場合があります。詳細は、1月下旬に以下に掲載される「通常授業曜日・時間・講師表」でご確認ください。
SEGホームページ（http://www.seg.co.jp）→［会員の方］→［通常授業曜日・時間・講師表］
※曜日によっては、全レベルが開講されない場合があります。

		月	火	水	木	金	土昼	土夜
高1	数学	DE	DE	DE RS	DE	DE	DE	DE RS
		17:15～20:15					14:00～17:00	17:40～20:40
	英語多読	R	DEF	DEF	DEF	DEF	DEF	DEF R
		17:15～20:15					14:00～17:00	17:40～20:40
	物理	Z	—	—	—	—	—	—
		17:45～20:15						
	化学	—	—	—	—	—	YZ	—
							14:30～17:00	

＊高1物理・化学は学期によって授業時間が異なります（4-6月期と9-11月期は2時間30分、1-2月期は3時間）。

		月	火	水	木	金	土昼	土夜
高2	数学	EFG RS LM	EFG	—	RS LM	EFG	—	EFG
		17:15～20:15			17:15～20:15			17:40～20:40
	英語多読	FG YZ	FG YZ	YZ	FG YZ	—	FG	FG YZ
		17:05～20:25					13:50～17:10	17:30～20:50
	物理	—	FGH	—	FGH	—	FGH	FGH
			17:15～20:15		17:15～20:15		14:00～17:00	17:40～20:40
	化学	—	—	FGH	—	—	FGH	YZ
				17:15～20:15			14:00～17:00	17:40～20:40

＊高2数学・物理・化学は、学期によって授業時間が異なりますので、注意ください。

	月～金	土昼	土夜
4-6月期	17:15～20:15	14:00～17:00	17:40～20:40
9-11月期	17:15～20:30	13:45～17:00	17:40～20:55
1-2月期	17:00～20:30	13:30～17:00	17:40～21:10

		月	火	水	木	金	土昼	土夜
高3	数学	—	FGH	LM	—	FGH	FGH LM	—
			17:00～20:30			17:00～20:30	13:30～17:00	
	英語多読	—	EFGH T	EFGH	EFGH	EFGH	EFGH	EFGH
			17:05～20:25				13:50～17:10	17:30～20:50
	物理 化学	化学 FGH	物理速修	物理 FGH	化学 FGH	物理速修	—	物理 FGH
		17:00～20:30						17:40～21:10
		—	化学速修	—	化学速修	—	—	—
			17:00～21:00		17:00～21:00			

通常授業4-6月期 受講料

学年	科目・コース	Ⅰ期 4/9～5/20	Ⅱ期 5/21～7/1
高1	高1数学	32,000円	32,000円
	高1英語多読	37,600円	37,600円
	英語多読多聴R		
	高1物理	26,700円	26,700円
	高1化学		
高2	高2数学	32,000円	32,000円
	高2英語多読	40,200円	40,200円
	高2物理	32,000円	32,000円
	高2化学		

学年	科目・コース	Ⅰ期 4/9～5/20	Ⅱ期 5/21～7/1
高3	受験数学	36,500円	36,500円
	受験英語多読	41,200円	41,200円
	受験物理演習	36,500円	36,500円
	受験物理速修		
	受験化学演習		
	受験化学速修	40,900円	40,900円

※年間の受講料については別冊子「入会手続のご案内」、または以下をご参照ください。
SEGホームページ（http://www.seg.co.jp/）→［入会案内］→［2019年度受講料］

※メイト会員登録料・受験料・入会金・受講料には消費税が含まれています。